

公益財団法人 秋田県スポーツ協会

**令和3年度
東北総合体育大会及び国民体育大会
参加申込担当者用説明資料**

(令和3年5月20日作成)

～ 目 次 ～

P1	要旨
P2	東北総体 開催市町村・競技日程・競技会場一覧
P3	三重国体 開催市町村・日程一覧
P5	参加申込締切一覧
P6	監督資格の取扱いについて
P7	参加申込に係る留意事項について
P11	監督の公認スポーツ指導者資格入力方法について
P12	「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準
P15	新型コロナウイルス感染症に伴う対応(参加資格特例措置について)
P16	「所属都道府県」選択における事例
P23	東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置
P26	トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置
P28	予選会免除対象大会一覧
【 東北総体関係資料 】	
P32	総則
P37	傷害見舞金給付基準
P38	傷害見舞金給付申請書
P39	個人情報及び肖像権取扱要領
【 国体関係資料 】	
P42	総則
P59	個人情報の保護に関する留意事項
【 参加申込関係様式 】	
P62	様式1～8 【様式1】申込確認書(東北総体用・国体用)
	【様式2】参加資格確認書<全監督(兼任含)、成年選手用>
	【様式3】参加資格確認書<少年選手用>
	【様式4】ふるさと選手制度使用確認・申請書
	【様式5～8】選手団名簿(派遣費用及び報道用)
	【概要調査】
P72	各様式留意事項等
P75	健康診断問診票
P77	健康診断問診票及びTUE申請について
P78	加盟団体提出書類、分担金、交付金等について

《県スポ協HP掲載》

- 国体参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明
- 第76回国民体育大会各競技実施要項の変更・修正について
- 参加選手・監督の交代(変更)届・棄権届 …他

東北総合体育大会 及び 国民体育大会への参加に係る手続等について

【要旨】

1. 参加申込システムについて

まずは早々にシステムにログイン出来る環境であることを確認してください。

2. 監督資格について

■都道府県予選会から本大会終了まで公認スポーツ指導者資格の登録状況が『有効』であること。

※有効期限が2022年3月31日以降であること

※新規取得者は認めず、2021年10月1日付更新登録手続きを行えるものは参加が可能

■公認スポーツ指導者資格を保有する監督が参加できない場合の取扱い

- ・選手のみでは参加できない。
- ・選手が監督を兼任する競技・種目・種別においても、当該チームは参加できない。

3. 各種様式について（県スポ協HPより必ず最新のものをダウンロードしてください）

①【様式1】申込確認書 ②【様式2】参加資格確認書＜全監督（兼任含）、成年選手用＞

③【様式3】参加資格確認書＜少年選手用＞ ④【様式4】ふるさと選手制度使用確認・申請書

⑤【様式5～8】選手団名簿（派遣費用及び報道用） ⑥ 概要調査

⑦ 健康診断問診票 ⑧ 参加選手・監督交代（変更）届・棄権届

※県体協の参加申込締切日までに提出

※①、⑤、⑥はメールにてデータで提出

※②～④、⑦は本人直筆のものを取りまとめ、参加申込システムへ入力後、速やかに本会へ提出

※①、⑤は東北総体、国体それぞれで提出

※②、③、④は東北総体申込時に提出（ストレート競技・種別・種目は国体申込時に提出）

※⑥、⑦は国体申込時のみ提出（⑦については7月以降に記入されたものを提出すること）

※【様式1～4】は競技団体でもコピーして保管し、翌年以降の参考資料とすること

※必ず当該年の様式を使用し、過年度の様式は使用しないこと

4. 参加申込システム入力

○システム入力操作については『【第1.4版】申込者マニュアル』を参照。

○システム利用のためのID（ユーザ名）・PASSは無くさないように管理してください。

○申込担当者の変更があった際には至急県スポ協へご連絡ください。

5. 「宿泊申込み」手続について

○各大会ともに開催県及び宿泊斡旋業者の指示に従い申込HPより手続を進めていただくことになります。

○関連書類は申込HPよりダウンロードしてください。

○宿泊申込システムID・PASSがある大会については、後日本会よりお知らせします。

注）申込手順が別に定められている競技については、本会では管理できませんので申込漏れ等に十分注意してください。

6. 派遣費申請の手続について

国民体育大会等派遣費補助金に関する要項・要領に基づき、出発日の1ヶ月前までに諸手続きを全て済ませ、精算書は競技終了後30日以内に提出してください。

7. その他

○選手・監督の交代届（東北総体・国体）は5月下旬までに県スポ協HPに掲載します。

○担当者が変わる場合は十分引継ぎをし、過年度資料も可能な範囲で継続して保管してください。

○不明な点がある場合は遠慮せず県スポ協へ連絡してください。

**令和3年度国民体育大会東北ブロック大会 兼 第48回東北総合体育大会
開催市町村・競技日程・競技会場一覧**

主会期 令和3年 8月20日(金) ～ 8月22日(日)

NO	競技種目		開催市町村	競技日程				国体地区予選	参加人数見込	競技会場
				19日 木	20日 金	21日 土	22日 日			
1	水泳	水球 アーティスティックスイミング	天童市			7/31◎	8/1○	☆	144	山形県総合運動公園屋外プール
						7/17○	7/18◎	☆	18	
2	ボート		宮城県登米市		7/30△	7/31○	8/1○	☆	252	アイエス総合ボートランド
3	カヌー	スプリント スラローム・ワイルドウォーター	西川町 青森県西目屋村			7/10◎ 6/26◎		☆	108 42	月山湖カヌースプリント競技場 目屋溪谷岩木川カヌー競技場
4	ボウリング		山形市		7/9△	7/10○	7/11○	☆	96	山形ファミリーボウル
5	ゴルフ		村山市			6/16水△	6/17木○	☆	24	さくらんぼカントリークラブ
6	陸上競技		天童市			8/28◎	8/29○	☆	612	NDソフトスタジアム山形
7	サッカー		天童市	7/29△	7/30○	7/31○	8/1○	☆	294	山形県総合運動公園サッカー場・ラグビー場
8	テニス		天童市			7/31◎	8/1○	☆	36	山形県総合運動公園テニスコート
9	ホッケー		川西町 米沢市	8/26△	8/27○	8/28○	8/29○	☆	456	川西町総合運動公園ホッケー競技場 山形県立米沢商業高等学校ホッケー場
10	ボクシング		新庄市		◎	○	○	☆	90	新庄市体育館
11	バレーボール		天童市		△	○	○	☆	312	山形県総合運動公園アリーナ・サブアリーナ
12	体操	体操競技	天童市		7/16△	7/17○	7/18○	☆	144	山形県総合運動公園アリーナ
		新体操			7/16◎	7/17○			36	
		トランポリン					7/11◎		18	
13	バスケットボール		山形市 上山市		△	○	○	☆	306	山形市総合スポーツセンター第1体育館 三友エンジニア体育文化センター
14	ウエイトリフティング		鶴岡市			◎	○	☆	120	鶴岡市羽黒体育館
15	ハンドボール		東根市	8/26△	8/27○	8/28○	8/29○	☆	312	東根市民体育館 東根市中央運動公園体育館
16	自転車	トラック	宮城県大和町		8/27◎	8/28○		☆	138	宮城県自転車競技場 鮭川村周回コース
		ロード	鮭川村				8/29○			
17	ソフトテニス		山形市			◎	○	☆	144	山形市総合スポーツセンターテニスコート
18	卓球		鶴岡市		◎	○	○	☆	120	鶴岡市小真木原総合体育館
19	軟式野球		山形市 中山町		△	○	○	☆	96	きらやかスタジアム 荘銀・日新スタジアムやまがた
20	相撲		酒田市			8/28◎	8/29○	☆	60	酒田市相撲場
21	馬術		宮城県仙台市			7/10◎	7/11○	☆	126	仙台市海岸公園馬術場
22	フェンシング		米沢市		△	○	○	☆	84	米沢市営体育館
23	柔道		山辺町			◎	○	☆	108	山辺町民総合体育館
24	ソフトボール		南陽市 白鷹町		△	○	○	☆	330	南陽市向山公園ソフトボール場 白鷹町ソフトボール場
25	バドミントン		山形市	8/12△	8/13○	8/14○	8/15○	☆	96	山形市総合スポーツセンター第1体育館
26	弓道		山形市			◎	○	☆	96	山形市総合スポーツセンター弓道場
27	ライフル射撃		南陽市		△	○	○	☆	84	南陽市ライフル射撃場
28	剣道		寒河江市			◎		☆	120	寒河江市体育館
29	ラグビーフットボール		天童市	○		○	○	☆	276	山形県総合運動公園ラグビー場 8/18△
30	スポーツクライミング		山形市 天童市		7/9△	7/10○	7/11○	☆	72	フラットボルダリングジム 山形県総合運動公園クライミングウォール
31	アーチェリー		鶴岡市			8/7◎	8/8○	☆	84	鶴岡市小真木原公園南多目的広場
32	空手道		上山市			8/28◎	8/29○	☆	96	三友エンジニア体育文化センター
33	銃剣道		天童市				8/29◎	☆	42	天童市スポーツセンターアリーナ
34	クレ射撃		鶴岡市			◎	○	☆	36	鶴岡市羽黒射撃場
35	なぎなた		天童市			◎	○	☆	42	天童市スポーツセンターアリーナ
36	アイスホッケー	少年 成年	未定	未定 未定				☆	204	※日程会場ともに未定

凡例 △印：競技別開始式 ◎印：競技別開始式後競技実施 ○印：競技実施日 ☆印：国体地区予選を兼ねて実施

76 三重とこわか国体 大会日程

式典	会場地	式典会場	競 技 日 程											
			9月						10月					
			25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	
総合開会式	津市	三重県総合文化センター	●											
総合閉会式													●	

正式競技

競 技 名				種 別	会 場 地	競 技 会 場	競 技 日 程											
							9月					10月						
							25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	
							土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
陸上競技				全種別	伊勢市	三重交通 G スポーツの杜 伊勢 陸上競技場							●	●	●	●		
サッカー				成年男子	鈴鹿市	三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場		●	●	●	●							
						四日市市中央陸上競技場		●	●	●	●							
				少年男子	四日市市	四日市市中央フットボール場		●	●									
						四日市大学第 1 グラウンド		●	●	●	●							
				女子	伊勢市	伊勢フットボールヴィレッジ			●	●								
					伊賀市	上野運動公園競技場				●	●							
テニス				全種別	四日市市	四日市テニスセンター							●	●	●	●		
						四日市ドーム							●	●	●	●		
ボート				全種別	大台町	奥伊勢湖漕艇場							●	●	●	●		
ホッケー				全種別	名張市	メイハンフィールド (名張市民陸上競技場)							●	●	●	●		
						はなの里スタジアム (名張市民ホッケー場)						●	●	●	●			
ボクシング				成年男子 少年男子 成年女子	志摩市	阿児アリーナ						●	●	●	●	●		
												●	●	●	●	●		
バレーボール				6人制	全種別	津市	津市産業・スポーツセンター (サオリーナ)						●	●	●	●		
							津市安濃中央総合公園内体育館					●	●	●	●			
				ビーチバレーボール	少年男子 少年女子	津市芸濃総合文化センター内アリーナ					●	●	●	●				
						津市御殿場海岸特設会場		●	●	●	●							
バスケットボール				全種別	津市	津市産業・スポーツセンター (サオリーナ)		●	●	●	●	●						
						津市安濃中央総合公園内体育館		●	●									
						津市久居体育館		●	●									
セーリング				全種別	津市	津ヨットハーバー		●	●	●	●							
ウエイトリフティング				成年男子	亀山市	西野公園体育館						●	●	●				
				少年男子									●	●	●			
				女子											●	●		
ハンドボール				成年男子	鈴鹿市	A G F 鈴鹿体育館	●	●		●	●							
						三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 体育館	●	●	●									
				成年女子		A G F 鈴鹿体育館	●	●	●	●								
						三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 体育館	●											
				少年男子	いなべ市	員弁運動公園体育館	●	●	●	●								
						いなべ市立北勢中学校体育館	●											
				少年女子	伊賀市	三重県立ゆめドームうえの	●	●	●	●	●							
自転車				トラック・レース	成年男子	四日市市	四日市競輪場				●	●	●	●				
					少年男子 女子													
				ロード・レース	成年男子 少年男子 女子	いなべ市	いなべ市特設ロードレースコース								●			
ソフトテニス				全種別	鈴鹿市	三重交通 G スポーツの杜 鈴鹿 庭球場							●	●	●	●		
卓球				全種別	伊勢市	三重県営サンアリーナ							●	●	●	●		
軟式野球				成年男子	四日市市	四日市市霞ヶ浦第 1 野球場		●	●	●	●							
						四日市市霞ヶ浦第 3 野球場		●	●	●	●							
					鈴鹿市	石垣池公園野球場		●										
					名張市	メイハンスタジアム (名張市民野球場)		●										
					亀山市	西野公園野球場		●	●									
					伊賀市	上野運動公園野球場		●	●									
相撲				成年男子 少年男子	伊勢市	三重交通 G スポーツの杜 伊勢 体育館	●	●	●									
馬術				成年男子 成年女子 少年	鈴鹿市	三重県馬術競技場					●	●	●	●	●			
フェンシング				全種別	鳥羽市	鳥羽市民体育館		●	●	●	●							

正式競技

競技名	種別	会場	競技会場	競技日程										
				9月					10月					
				25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火
ソフトボール	成年男子	明和町	明和町総合グラウンド		●	●	●							
			明和中学校第2グラウンド		●	●								
	成年女子	熊野市	山崎運動公園 くまのスタジアム		●	●	●							
			熊野スカイパーク球場		●	●								
	少年男子	志摩市	長沢野球場		●	●	●							
バドミントン	全種別	伊勢市	三重県営サンアリーナ	●	●	●	●							
	近代的	名張市	名張中央公園特設近代的弓道場		●	●	●	●						
弓道	遠的		名張中央公園特設遠的弓道場		●	●	●							
	50m・10m	全種別	三重県営ライフル射撃場							●	●	●	●	
ライフル射撃	BR・BP	少年男子	津市一志体育館							●	●	●		
	25m	成年男子	三重県警察学校射撃場							●	●	●		
剣道	全種別	伊賀市	三重県立ゆめドームうえの								●	●	●	
ラグビーフットボール	7人制	成年男子	熊野市 山崎運動公園 多目的グラウンド									●	●	
	15人制	少年男子	鈴鹿市 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 サッカー・ラグビー場							●	●		●	●
スポーツクライミング	リード	全種別	菟野町体育センター南側グラウンド							●	●	●		
	ボルダリング	全種別	菟野町体育センター							●	●	●		
カヌー	スプリント	全種別	四日市市 伊坂ダム特設カヌー競技場							●	●	●	●	
	スラローム	成年男子	多気町 柳田川特設カヌー競技場								●	●		
アーチェリー	ウィンドウオーター	成年女子	松阪市							●				●
		全種別	松阪市 松阪市総合運動公園 芝生広場							●	●	●		
空手道	全種別	四日市市	四日市市総合体育館								●	●	●	
クレー射撃	成年	伊賀市	三重県上野射撃場						●	●	●	●		
なぎなた	成年女子	津市	津市芸術総合文化センター内アリーナ		●	●	●							
ボウリング	全種別	津市	津グランドボウル							●	●	●	●	
	成年男子	四日市市	四日市カントリー倶楽部		●	●	●							
ゴルフ	少年男子	鈴鹿市	鈴鹿ゴルフ倶楽部		●	●	●							
	女子	桑名市	桑名カントリー倶楽部		●	●	●							
トライアスロン	成年男子	志摩市	志摩市浜島海浜公園特設会場									●		
	成年女子													

正式競技(会期前実施競技)

競技名	種別	会場	競技会場	競技日程										
				9月										
				4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火
水泳	競泳	全種別								●	●	●		
	飛込	全種別								●	●	●		
	水球	少年男子	鈴鹿市 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場		●	●	●							
		女子			●	●	●							
	アーティスティック スイミング	少年女子		●										
体操	オープンウォーター スイミング	男子、女子	尾鷲市 尾鷲市三木里海水浴場					●						
	競技	全種別							●	●	●	●		
レスリング	新体操	少年女子	四日市市 四日市市総合体育館	●	●									
	トランポリン	男子、女子				●								
レスリング	成年男子	津市	津市産業・スポーツセンター (サオリーナ)								●	●	●	●
	少年男子										●	●		
	女子													

競技名	種別	会場	競技会場	競技日程										
				9月										
				15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	
柔道	成年男子	津市	津市産業・スポーツセンター (サオリーナ)				●	●	●					
	少年男子													
	女子													

第48回東北総合体育大会 参加申込締切日

競技	県スポ協締切日	実行委員会締切
主会期開催競技	7月14日(水) 17時まで	7月21日(水) 17時まで

主会期外に開催する競技は、下記のとおり

競技	県スポ協締切日	実行委員会締切
ゴルフ	5月19日(水) 17時まで	5月26日(水) 17時まで
カヌー S L / W	5月27日(木) 17時まで	6月3日(木) 17時まで
ボウリング	6月3日(木) 17時まで	6月10日(木) 17時まで
馬術		
スポーツクライミング		
アーティスティックスイミング		
体操	6月10日(木) 17時まで	6月17日(木) 17時まで
新体操		
トランポリン		
カヌー S P	6月17日(木) 17時まで	6月24日(木) 17時まで
ボート	6月23日(水) 17時まで	6月30日(水) 17時まで
水球	6月24日(木) 17時まで	7月1日(木) 17時まで
サッカー	7月1日(木) 17時まで	7月8日(木) 17時まで
テニス	7月8日(木) 17時まで	7月15日(木) 17時まで
アーチェリー	7月15日(木) 17時まで	7月22日(木) 17時まで
バドミントン	7月22日(木) 17時まで	7月29日(木) 17時まで
自転車競技		
陸上競技		
ホッケー		
レスリング		
ハンドボール		
相撲		
空手道		
銃道		

県スポ協締切日までに以下の書類を提出すること。
 ・【様式1】(R3 夏季)東北総合体育大会 申込確認・申請書
 ・【様式2】(R3 夏季)参加資格確認書 & 記入について(全監督・成年選手用)
 ・【様式3】(R3 夏季)参加資格確認書 & 記入について(少年選手用)
 ・【様式4】(R3 夏季)ふるさと選手制度使用確認・申請書 & 使用手続きについて
 ・【様式5. 6】(R3 夏季)選手団名簿(東北総体分)

※出場全競技必ず提出

第76回国民体育大会 参加申込締切日

競技	県スポ協締切日	実行委員会締切
水泳、ボート、体操、セーリング、自転車 相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン	8月11日(水)	8月19日(木)
レスリング、柔道	8月19日(木)	8月26日(木)
陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー ボクシング、バレーボール、バスケットボール ウエイトリフティング、ハンドボール ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術 フェンシング、ソフトボール、バドミントン 弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビー スポーツクライミング、アーチェリー、空手道 クレー射撃、なぎなた、高等学校野球	8月26日(木)	9月2日(木)

注: いずれも17時厳守

県スポ協締切日までに以下の書類を提出すること。
 ・【様式1】(R3 夏季)東北総合体育大会 申込確認・申請書
 ・【様式2】(R3 夏季)参加資格確認書 & 記入について(全監督・成年選手用)
 ・【様式3】(R3 夏季)参加資格確認書 & 記入について(少年選手用)
 ・【様式4】(R3 夏季)ふるさと選手制度使用確認・申請書 & 使用手続きについて
 ・【様式5. 6】(R3 夏季)選手団名簿(国体版)
 ・健康診断問診票 (R3 国体版)
 ・概要調査

※東北総体申込時に提出した様式は再提出不要

※※冬季競技については別途通知します※※

**監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに伴う
第76回国民体育大会・第77回国民体育大会冬季大会における取扱いについて**

2021年4月5日

■公認スポーツ指導者資格を保有する者

公認スポーツ指導者資格を保有する者とは、「大会参加時(都道府県予選会から本大会終了時まで)に公認スポーツ指導者資格の登録状況が『有効』(資格が認定されている状態)である者」をいう。

※2021年(令和3年)4月1日(冬季大会は2021年(令和3年)10月1日)時点で公認スポーツ指導者資格を有し、かつ有効期限が2022年(令和4年)3月31日以降であること。

■公認スポーツ指導者資格を保有する監督が参加できない場合の取扱い

- ・ 公認スポーツ指導者資格を保有する監督が参加できない場合、選手のみでは参加できない。
- ・ 選手が監督を兼任する競技・種目・種別においては、兼任する監督が公認スポーツ指導者資格を保有していない場合、当該チームは参加できない。

■参加可否一覧

【第76回本大会・ブロック大会】

資格状況 (大会参加時)	資格有効期限	参加可否
資格者	有効	○
	登録保留	○※
	資格停止	×
2021年(令和3年)10月1日付認定予定者	—	×
※2021年(令和3年)10月1日付更新登録手続きを行える者は参加が可能。 (所定の期限までに更新登録手続きを行わなかった場合は、参加不可)。		

【第77回冬季大会】

資格状況 (大会参加時)	資格有効期限	参加可否
資格者	有効	○
	登録保留	×
	資格停止	×
2022年(令和4年)4月1日付認定予定者	—	×

第 76 回国民体育大会参加申込に係る留意事項について【重要】

● 監督における日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格等の入力

公認スポーツ指導者資格義務付けに関する参加資格違反が何例か発生しています。監督の指導者資格保有状況について十分ご確認いただき、参加申込作業を取り進めていただきますようお願いいたします。

入力方法の詳細については、別添「第 76 回国民体育大会における監督の公認スポーツ指導者資格入力方法について」を参照の上、取り進めください。

● 本システムの主な特徴

- ・ 本システムでは、個人情報保護の観点より、インターネットセキュリティ機能を高めるために「認証コード」機能を採用しております。本システムにログインするためには、「認証コード」機能をお使いください。

なお、「認証コード」を送付するメールアドレスには、個人情報保護の観点から、フリーメールアドレス（Yahoo メール、g メール等）は推奨いたしません。プロバイダ契約を行っているメールアドレスを登録ください。

- ・ 申込システムにおける全競技共通の入力項目のうち、「プログラム用所属」欄については、競技別プログラム等に掲載されることを前提に、当該選手・監督の所属団体等をご入力ください。
- ・ 本システムでは、参加申込情報の送信手順として、「①都道府県競技団体（「確定」）⇒都道府県体育・スポーツ協会」、「②都道府県体育・スポーツ協会（「承認」）⇒開催地都道府県、会場地市町村実行委員会、中央競技団体」の 2 段階を経ることとなります。この際、①の段階で「確定」ボタン、②の段階で「承認」ボタンをクリックするためには、1 競技単位で全種別・種目等のページにおいて「申込書チェック」を行ってください。
※1 競技単位すべてのページで「申込書チェック」が行われない限り、「確定」及び「承認」ボタンはクリックできません。
- ・ 従来の申込システム下での参加申込手続きにおいて、紙媒体で行っていた異字体報告について当協会宛は不要とし、開催地都道府県実行委員会宛に報告を行うこととしております。FAX 送付先の宛先については開催地都道府県実行委員会宛となり、詳細は、本留意事項 P.4 をご参照ください。

● 都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体との連携体制の確立について

- ・ 開催地都道府県実行委員会等から都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対する疑義事項の照会に係る対応については、都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体が連携・協力の上、遺漏のないよう万全の体制を整えてください。
- ・ 本資料をはじめとする参加申込関係資料の内容については、必ず貴会加盟競技団体に対しご周知ください。

- 選手及び監督の参加資格の確認について
 - ・ 第76回国民体育大会に係る選手・監督の参加資格については、「第76回国民体育大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」に基づき、すでに貴会傘下の都道府県競技団体に周知いただいていることと思いますが、参加資格の理解をより徹底する観点から、「参加資格確認書」等を活用し、各選手及び監督個人への確認作業を行ってください。
- 参加申込の受理について
 - ・ 参加申込情報は開催地都道府県、会場地市町村実行委員会、中央競技団体の三者による点検・確認を経た上で、受理いたします。三者の参加申込の受理を含めて、各競技締切日までに申込手続きを完了していただくこととなります。点検・確認には、時間を要することもありますので、参加申込手続きは余裕をもって行ってください。

[参加申込期限]

第一次参加申込締切日： 令和3年8月19日（木）

レスリング競技・柔道競技締切日： 令和3年8月26日（木）

第二次参加申込締切日： 令和3年9月2日（木）

※ いずれの締切日も17:00をもって参加申込を締め切ります。

- ・ 一旦、参加を申込まれた情報については、原則として、その後の変更、入替、追加等は受けませんので、参加申込情報は、事前に入力内容をよく点検・確認してください。
 ※但し、当協会、開催地都道府県実行委員会、会場地市町村実行委員会、中央競技団体からの疑義事項照会があった場合は、照会内容をご確認の上、必要に応じて参加申込情報を訂正・修正してください。
- 各競技における参加申込システムの操作について
 - ・ 都道府県競技団体が当該競技の申込手続きを行うためには、最終的に「確定」ボタンをクリックする必要があります。「確定」ボタンがクリックされない限り、所属都道府県体育・スポーツ協会において「承認」ボタンがクリックできません。
 なお、「確定」ボタンをクリックするためには、当該競技の種別・種目等の全ページにおいて、参加者情報を入力し、不備がないことを確認した上で「申込書チェック」ボタンをクリックし入力を終える必要があります。参加しない種別・種目、あるいは「添付書類」等の使用しないページにおいては、「この申込書を使用しない」ボタンをクリックしてください。
 - ・ 都道府県体育・スポーツ協会が当該競技の申込手続きを承認し、受理者側（開催地都道府県、会場地市町村実行委員会、中央競技団体）に対して、参加申込情報を送信するには、最終的に「承認」ボタンをクリックする必要があります。（「承認」ボタンがクリックされない限り、受理者側では「受理」又は「差戻」ボタンがクリックできません）
 なお、「承認」ボタンをクリックするためには、当該競技の種別・種目等の全ページにおいて、参加申込情報を確認し、「申込書チェック」ボタンをクリックする必要があります。（参加申込情報を修正するためには、「修正依頼」ボタンをクリックして、当該都道府県競技団体に連絡してください）
 - ・ 都道府県競技団体の操作する機能については、すべて都道府県体育・スポーツ協会が代理

で行うことができます。必要に応じて、都道府県体育・スポーツ協会が当該機能をご利用ください。

- ・ 貴会「代表者」名の欄及び「申込責任者」名の欄については、**確定**又は**承認**ボタンがクリックされた後に、自動的に入力されるため、改めての入力は不要です。

但し、事前に本システム内の「メンテナンス」ページ内「組織マスタ」において当該代表者名を、また、同様に「アカウントマスタ」において当該申込責任者名をそれぞれ設定しておく必要があります。

連絡責任者において、入力する内容がない場合（勤務先がない、FAX がない、携帯電話がない等）については当該箇所『0』を複数個入力してください。

- 競技参加申込書について

- ・ ドーピング検査同意書に関する確認項目については「国民体育大会ドーピング検査同意書」に署名及び捺印（選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名、捺印）されているか確認した上で、申し込みをお願いいたします。

- プログラム掲載用所属の記載方法について

- ・ 申込書の「プログラム掲載用所属」欄に学校名を記載する場合の対応については、大会の記録業務及びメディアの報道に資する観点から、別添「プログラム掲載用所属の記載方法について」に従い作業を進めてください。

- 本部役員の参加申込について

- ・ 本部役員については、大会期間中の役員の入替が可能です。
- ・ 本部役員として帯同するスポーツドクター及びアスレティックトレーナーについては、別添「本部役員申込書におけるスポーツドクター及びアスレティックトレーナーの入力方法について」に従い作業を進めてください。

- ふるさと登録・申請について

- ・ ふるさと登録・申請は、当該大会（都道府県予選会、ブロック大会を含む）においてふるさと選手制度を活用して参加した者のみ取りまとめの上、システムへ入力してください。

※ ふるさと登録・申請は、参加資格確認のため、大会毎に入力が必要となります。また、都道府県体育・スポーツ協会及び競技団体においても、ふるさと選手制度の適正な使用を確認する上で、各大会における使用状況を把握するためにシステムへの入力が必要となります。

- ・ ふるさと登録・申請に係る本システムへの当該者情報の入力は、必ず、競技別の参加申込情報を入力する前に行ってください。

競技別の参加者情報を入力する際に、「所属区分」において「ふるさと」を選択するためには、事前にふるさと登録・申請の入力を終えた方以外は選択できません。

- ・ 第74回大会参加申込時においても、生年月日のズレや漢字の入力間違い等により、ふるさと登録の回数が正しく表示されていないという報告が多数ありました。入力の際、過去大会の出場回数が正しく反映されているか事前に必ずご確認ください。表示内容が異なっている場合については、当協会までご連絡ください。

- 参加申込締切後の選手交代（変更）について
 - ・ 参加申込締切後の特別な事情による選手の交代(変更)及び棄権に係る手続きについては、所定の用紙により、関係機関・団体へ申請してください。但し、交代（変更）手続きを行った場合には大会終了後、当協会の案内に従い、参加者情報を修正してください。棄権の場合には修正は不要です。
- 各報告書について
 - ・ 参加申込を WEB で行うことに伴い、参加申込ページには捺印ができません。このため、本システムを介して申し込む参加者情報については「公印省略」の扱いとし、別途ご提出いただく「第 76 回国民体育大会参加申込手続き完了報告」への捺印をもって、「有印公文書」扱いとします。
 - ・ 「第 76 回国民体育大会参加申込手続き完了報告」については、当該大会の全ての参加者情報（競技会への参加者、本部役員、視察員）を入力し、「承認」を経た後に、都道府県体育・スポーツ協会から当協会へ報告（郵送）してください。
 - ・ 「第 76 回国民体育大会における参加選手の異字体報告」は、氏名に異字体を含む参加者がいる場合に、システムを介しての参加申込手続きの際、「異字体」欄にチェックを入れるとともに、開催地都道府県実行委員会宛 FAX 送信してください。

なお、第 76 回国民体育大会三重県実行委員会 FAX は今後開設予定のため、確定次第、別途改めてご連絡いたします。

三重県実行委員会 FAX : (調整中)

- ・ 異字体報告は、プログラムへの掲載、表彰状筆耕等の際に必要となります。この報告がない場合、参加申込ページに入力された内容により、プログラム掲載、表彰状筆耕等に反映されます。
- その他
 - ・ 本システム内では、過去大会の情報（ふるさと情報含む）等も閲覧できるため、個人情報保護の観点から、別添の「個人情報の保護に関する留意事項」を必ずご熟読の上、適切にご利用ください。
 - ・ 本システムに関するお問合せについては、当協会加盟団体（都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体）、並びに、開催地都道府県実行委員会のみから受け付けます。都道府県体育・スポーツ協会及び中央競技団体傘下の各都道府県競技団体からのお問い合わせについては、都道府県体育・スポーツ協会あるいは中央競技団体において取りまとめの上、当協会へお問合せください。

第76国民体育大会における監督の 公認スポーツ指導者資格入力方法について

公益財団法人 日本スポーツ協会
スポーツプロモーション部 国体課

第76回大会の監督の参加申込みにおいては、下記の通り、公認指導者資格名、公認指導者資格登録番号、公認指導者資格有効期限を入力いただきますようお願いいたします。

【入力方法】

- ① 保有公認指導者資格番号を入力し、「指導者チェック」をクリック
- ② 表示された資格情報を確認

※該当者が見つからない場合、カナ氏名および番号に誤りがないかご確認ください。

国民体育大会参加申込システム 画面イメージ

1-日本スポーツ協会公認指導者資格番号を入力し、「指導者チェック」をクリックします。

日本スポーツ協会公認 指導者資格情報	
日本スポーツ協会公認 指導者資格番号	0000012
日本スポーツ協会公認 指導者資格	指導者チェック

2-基本情報と番号を参照し、合致する資格情報が表示されます。

日本スポーツ協会公認 指導者資格情報	
日本スポーツ協会公認 指導者資格番号	0000012
日本スポーツ協会公認 指導者資格	指導者チェック
日本スポーツ協会公認 指導者資格	保有資格/有効期限/登録状況/最新研修 陸上競技コーチ3/2022-09-30/有効/受講済み

複数競技の資格を持っている場合は、入力している申込書の競技に紐づく資格のみ表示されます。

3-情報が合致しない場合はエラーメッセージが表示されます。
正しい情報を入力し、再度「資格者チェック」をクリックします。

日本スポーツ協会公認 指導者資格情報	
日本スポーツ協会公認 指導者資格番号	0000012
日本スポーツ協会公認 指導者資格	指導者チェック
日本スポーツ協会公認 指導者資格	指導者が見つかりませんでした

「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準

公益財団法人日本スポーツ協会

1. 「居住地を示す現住所」における「日常生活」について

「日常生活」の認定については、次により判断する。

- (1) 原則として、当該大会開催年4月30日以前から大会終了時（冬季大会は当該大会開催前年の4月30日以前から10月31日）まで（以下「対象期間」という。）の総日数の半数を超えて、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があること。なお、対象期間中に住民票を異なる都道府県に移動した場合、「居住地を示す現住所」とはならない。

ただし、次に定める各日数は対象期間の総日数から控除する。

- ① 各種競技大会に参加していた日数^{*1}
 - ② 中央競技団体から義務づけられた合宿その他の活動に参加していた日数^{*2}
 - ③ 少年種別年齢域で、「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する選手については、長期休業（夏季等）の日数
- (2) 例外として、上記(1)に該当しない場合であっても、以下のような諸事情を総合的に勘案して、住民票記載の住所において、対象期間の半数を超えて生活していることと同等の生活実態があると本会が判断した場合、「日常生活」と認める。
- ① 自ら所有する住居が存し、又は自らの名義で住居を賃借していること
 - ② 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
 - ③ 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
 - ④ 当該住居に主要な家財道具が存すること

2. 「勤務地」における「主たる勤務実態」について

「主たる勤務実態」の認定については、次により判断する。

- (1) 原則として、対象期間中の総日数から、対象期間中1週当たり労働義務のない日とみなす2日及び対象期間中の国民の祝日に関する法律による休日を控除し、残った日数（以下「総労働日数」という。）の半数を超えて、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務している実態があること。

なお、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等へ現実に通勤している者が、会社の命により、テレワーク勤務等を行う場合、その勤務日についても総労働日数に含むものとする。

ただし、次に定める各日数は、総労働日数から控除する。

- ① 各種競技大会に参加していた日数^{*1}
 - ② 中央競技団体から義務付けられた合宿その他の活動に参加していた日数^{*2}
- (2) 例外として、上記(1)に該当しない場合であっても、現実に通勤し、勤務している会社や事業所等の存する都道府県内において、「日常生活」が認められ、かつ、以下の①、②のいずれも満たす日数について現実に通勤し、勤務している実

態があること。

- ① 対象期間の総労働日数から上記(1)①②を控除した日数のうち、4分の1を超えた日数
- ② 夏季休暇など雇用契約上労働義務を負わない日を対象期間の総労働日数から控除し、残った日数の半数を超えた日数（ただし、夏季休暇など雇用契約上労働義務を負わない日として控除する日数は、勤務形態等を勘案し、合理的な範囲の日数※3に限る。）

※1 「各種競技大会に参加していた日数」について

「各種競技大会」とは、IFまたはNFが主催、主管、または認定する国際または全国レベルの公式・公認大会をいう（記録会等は除く）。

なお、各種競技大会に参加するために係る移動日数については、当該大会の前後1日ずつ（計2日）を上限として、「各種競技大会に参加していた日数」として控除日数の対象と認める。

ただし、当該活動により海外へ移動する場合については、別途公益財団法人日本スポーツ協会が合理的な範囲で移動日数を加算して認めることがある。

【例示：控除となる移動日について】

以下、図示した内容のうち、網掛け箇所が控除対象日

← 所属都道府県外 →								
所属 都道府県	移動日	大会 前々日	大会 前日	大会期間	大会 翌日	大会 翌々日	移動日	所属 都道府県

※ 大会に参加するための移動に係る前後1日（計2日）を控除対象として認める。

← 所属都道府県外 →								
所属 都道府県	移動日	練習等	大会期間 (A大会)	移動日	大会期間 (B大会)	練習等	移動日	所属 都道府県

※ 所属都道府県を起点として、所属都道府県外への発着に伴う移動日数のみを控除対象として認める。

※2 「中央競技団体から義務付けられた合宿その他の活動に参加していた日数」について

「中央競技団体から義務付けられた合宿その他の活動」とは、NFが招集し実施する日本代表選手（候補を含む）としての活動をいい、日本代表合宿・遠征・大会参加や、メディカルチェック、イベントへの参加も含む。

なお、中央競技団体から義務付けられた合宿その他の活動に参加するために係る移動日数については、上記※1と同様の範囲で控除日数の対象と認める。

※3 「合理的な範囲の日数」について

「合理的な範囲」の認定については、個別の事情を勘案し、公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会委員会で審議する。該当する事例が発生した場合には、所属の都道府県体育協会を通じて、公益財団法人日本スポーツ協会へ確認すること。

【Q&A事例】

Q.1 住居を複数有している場合はどうか？

A.1 過半を超える住居は1つになるはずです。

なお、競技会参加や日本代表の合宿等の日数を控除しても、対象期間の過半を超えない場合は、必ず公益財団法人日本スポーツ協会へお問い合わせの上、ご確認ください。

Q.2 勤務実態において、アルバイトは認められるのか？

A.2 「勤務地」の要件を満たす際の前提としては、フルタイム（週40時間程度勤務）の職業を意図しております。しかし、近年における雇用形態の多様化（派遣会社員、非常勤講師、業務内容が競技活動を行うこと、等）もあるため、前述の条件と同等と考えられる雇用・勤務形態の場合は、公益財団法人日本スポーツ協会へお問い合わせの上、ご確認ください。

なお、学生の短時間・期間のアルバイト等は勤務として認められません。

Q.3 「各種競技大会」あるいは「中央競技団体から義務づけられた合宿その他の活動」には、任意に行われる競技会や地域（都道府県）レベルの交流試合・合宿・遠征等は含まれるのか？

A.3 IFやNFと関連のない大会や活動は含まれません。また、同様に、選手の所属企業・団体等からの業務命令による出張・遠征等も認められません。

この控除の趣旨は、選手の意思とは別にNFからの指示によって、半強制・義務的に都道府県外で活動することはやむをえず、なおかつ、控除対象として明確に定義・区分することができるとの理由からです。ご質問の内容は、この趣旨に含まれておりません。

<附則>

平成23年2月24日	制定
平成23年4月1日	一部改定
平成23年6月23日	一部改定
平成26年3月13日	一部改定
平成30年4月1日	一部改定
平成30年8月30日	一部改定
令和元年8月29日	一部改定
令和2年9月10日	一部改定

新型コロナウイルス感染症に伴う対応

第 76 回国民体育大会に係る参加資格特例措置について

特例対象者

新型コロナウイルス感染症に伴う、都道府県を跨ぐ移動の制限および日本政府の入国制限措置により、4 月 30 日までに開催基準要項で定める参加要件を満たすことが出来なかった者

特例措置内容

4 月 30 日までに開催基準要項で定める参加要件を満たすことが出来なかった者については、参加都道府県の予選会参加申込時までに開催基準要項で定める参加要件を満たし、大会終了時まで引き続き当該地に居住又は勤務、通学している者に限り参加を認める。

以上

第 76 回国民体育大会本大会（2021 年）
「実施要項総則第 5 項（2）所属都道府県」選択における事例
（2020 年 12 月 10 日版）

● 第 76 回国民体育大会本大会実施要項総則

参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

（1）参加資格

ウ 第 74 回又は第 75 回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第 74 回又は第 75 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

（ア）成年種別

- a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚又は離婚に係る者
[注] a 及び b は当該要件発生後、初めて参加する者に限る。
- c ふるさと選手制度を活用する者（別記 1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）
- d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 4「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

（イ）少年種別

- a 「学校教育法」第 1 条に規定する学校を卒業した者
- b 結婚又は離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記 2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] a から c は当該要件発生後、初めて参加する者に限る。
- d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記 4「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

【凡例】

「—」…不参加

「×」…第 74 回又は第 75 回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

【基本】

	第 74 回大会 2019 年	第 75 回大会 2020 年	第 76 回大会 2021 年	第 77 回大会 2022 年	特別大会 2023 年
A 選手	茨城県 (居住地)	— (中止)	×	三重県 (勤務地)	三重県 (勤務地)

【 事例 1：新卒業者 】

	第 74 回大会 2019 年	第 75 回大会 2020 年	第 76 回大会 2021 年	第 77 回大会 2022 年	特別大会 2023 年
B 選手	茨城県 (居住地) [大学 3 年]	— (中止) [大学 4 年] 2021.3 月卒業	三重県 (居住地) 〔三重県へ転居〕 「新卒業者」適用	三重県 (居住地)	三重県 (居住地)
C 選手	茨城県 (居住地) [大学 4 年] 2020.3 月卒業	— (中止) 〔三重県へ転居〕	三重県 (居住地) 〔三重県に居住〕 「新卒業者」適用	三重県 (居住地)	三重県 (居住地)

対象者：

第 76 回本大会[2021 年]：

参加状況		卒業年度
第 74 回	第 75 回	
参加	不参加	2019 年度（2020.3 月）以降に卒業した者

※C 選手の事例：

C 選手は、第 74 回大会に参加し、大学卒業後の第 75 回大会は不参加（中止）だったが、「新卒業者」の要件発生後、初めての参加となる第 76 回大会においては、当該特例が適用され、第 74 回大会と異なる都道府県から参加することができる。

【事例 2：結婚又は離婚に係る者】

	第 74 回大会 2019 年	第 75 回大会 2020 年	第 76 回大会 2021 年	第 77 回大会 2022 年	特別大会 2023 年
D 選手	茨城県 (居住地)	— (中止) 離婚 (三重県へ転居)	三重県 (居住地) 離婚適用	三重県 (居住地)	三重県 (居住地)
E 選手	茨城県 (居住地) 大会後結婚 (三重県へ転居)	— (中止)	三重県 (居住地) 〔三重県に居住〕 結婚適用	三重県 (居住地)	三重県 (居住地)
F 選手	茨城県 (居住地) 大会後結婚 (三重県へ転居)	— (中止)	三重県 (居住地) 結婚適用 大会後離婚 (栃木県へ転居)	栃木県 (居住地) 離婚適用	栃木県 (居住地)

対象者：

第 76 回本大会[2021 年]：

参加状況		手続き完了期間
第 74 回	第 75 回	
参加	不参加	2019 年 5 月 1 日以降、2021 年 4 月 30 日 ^(注) までに手続きを完了した者

(注) 新型コロナウイルス感染症に伴う「第 76 回本大会に係る参加資格特例措置」対象者については、第 76 回本大会都道府県予選会参加申込時までに手続きを完了した者。

※E 選手の事例：

E 選手は、第 74 回大会に参加し、結婚後の第 75 回大会は不参加（中止）だったが、「結婚又は離婚に係る者」の要件発生後、初めての参加となる第 76 回大会においては、当該特例が適用され、第 74 回大会と異なる都道府県から参加することができる。

【事例3：一家転住等に係る者】

	第74回大会 〔高校1年生〕	第75回大会 〔高校2年生〕	第76回大会 〔高校3年生〕	第77回大会
G選手	茨城県 (学校所在地) 大会後一家転住 (三重県へ転居)	— (中止)	三重県 (居住地) 一家転住適用 2022.3月卒業	三重県 (居住地) (「新卒業者」適用期間)
H選手	茨城県 (学校所在地) 大会後一家転住 (三重県へ転居)	— (中止)	三重県 (居住地) 一家転住適用 2022.3月卒業	栃木県 (居住地) (栃木県へ転居) 「新卒業者」適用
I選手	茨城県 (学校所在地) 大会後一家転住 (東京都へ転居) (千葉県) 高校へ転校	— (中止)	千葉県 (学校所在地) 2022.3月卒業 一家転住適用	三重県 (居住地) (三重県へ転居) 「新卒業者」適用

対象者：

第76回本大会〔2021年〕：

参加状況		手続き完了期間
第74回	第75回	
参加	不参加	第74回大会終了後（2019年10月以降）、第76回大会都道府県予選会までに手続きを完了した者

※G選手の事例：

G選手は、第74回大会に参加し、第75回大会は不参加（中止）だったが、第76回大会都道府県予選会までに一家転住したことから、「一家転住等に係る者」の要件発生後、初めての参加となる第76回大会においては、当該特例が適用され、第74回大会と異なる都道府県から参加することができる。

【事例 3 補足：「一家転住等に伴う特例措置」に係る参加可能都道府県について】

本特例措置の適用にあたり、参加することができる都道府県は下表のとおり。

		転居先都道府県		
		代表選考前	代表選考中	代表決定後
転居元都道府県	代表選考前	転居先 ②	転居先（転居元）② ※1	転居元 ①
	代表選考中	転居元 ③	転居元 ③	転居元 ①
	代表決定後	転居元 ④	転居元 ④	転居元 ①
	選考敗退 ※2	×	×	×

〔解説〕

- ① 転居先都道府県の代表が既に決定している場合は、転居元都道府県から参加することができる。
 - ② 転居元都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合は、転居先都道府県から参加することができる。
- ※1 転居先都道府県において代表選考が進行しており、当該参加者が転居先都道府県の代表選考対象とならない場合には、転居元都道府県から参加することができる。
- ③ 当該参加者が、転居元都道府県の代表選考過程にある場合は、転居元都道府県から参加することができる。
 - ④ 当該参加者が、転居元都道府県の代表として既に決定している場合は、転居元都道府県から参加することができる。
- ※2 当該参加者が、転居元都道府県の代表選考過程において既に敗退していた場合には、転居先都道府県の代表選考状況にかかわらず、参加することはできない。

【事例4：ふるさと選手制度を活用する者】

	第74回大会 2019年	第75回大会 2020年	第76回大会 2021年	第77回大会 2022年	特別大会 2023年	第78回大会 2024年
K選手	茨城県 (勤務地)	— (中止)	三重県 ふるさと (1回目①)	三重県 ふるさと (1回目②)	栃木県 (居住地)	栃木県 (居住地)
L選手	茨城県 (勤務地)	— (中止)	三重県 ふるさと (1回目①)	三重県 ふるさと (1回目②)	三重県 ふるさと (1回目③)	三重県 ふるさと (1回目④)
M選手	三重県 ふるさと (1回目①)	— (中止)	東京都 (勤務地)	東京都 (勤務地)	東京都 (勤務地)	三重県 ふるさと (2回目①)
N選手	茨城県 (居住地)	— (中止)	三重県 ふるさと (1回目①)	東京都 (勤務地)	三重県 ふるさと (2回目①)	三重県 ふるさと (2回目②)
O選手	茨城県 (居住地)	— (中止)	茨城県 (居住地)	茨城県 (居住地)	三重県 ふるさと (1回目①)	東京都 (勤務地) 「新卒業者」適用
P選手	三重県 ふるさと (1回目①)	— (中止)	—	三重県 ふるさと (1回目②)	三重県 ふるさと (1回目③)	東京都 (勤務地)
Q選手	三重県 ふるさと (1回目①)	— (中止)	—	—	三重県 ふるさと (1回目②)	三重県 ふるさと (1回目③)

(例)1回目①=1回目活用の1年目 1回目②=1回目活用の2年目
2回目①=2回目活用の1年目 2回目②=2回目活用の2年目

対象者：当該大会都道府県予選会参加申込締切日までに手続きを完了した者

※ M～N選手の事例：

「ふるさと選手制度」は原則として2年以上連続して活用しなくてはならないが、第75回大会の中止に伴う特例対応により、前回出場の都道府県と異なる都道府県から参加できる。

※ O選手の事例：

「ふるさと選手制度」は原則として2年以上連続して活用しなくてはならないが、「新卒業者」、「結婚又は離婚に係る者」の例外適用(2大会以上の間を置かなくとも前回出場の都道府県と異なる都道府県から参加できる)は、ふるさと選手制度の「2年以上連続して活用」という条件に優先して適用される。

ただし、特別大会の「ふるさと」活用は1回目の活用と数え、残りの活用回数は1回とする。

※P～Q選手の事例：

「ふるさと選手制度」は原則として1回につき2年以上連続して活用しなくてはならないが、1年目の利用後不参加となった場合、次回参加時に「ふるさと」を選択して参加すれば、1回目の継続活用となる。

【事例5：JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置を活用する者】

◆ 少年種別年齢域の選手が特例措置を活用する場合

	第74回大会 〔中学3年生〕	第75回大会 〔高校1年生〕	第76回大会 〔高校2年生〕	第77回大会 〔高校3年生〕
R 選手	— (アカデミー入校) 〔東京都に居住・在学〕	— (中止)	三重県 (卒業小学校所在地) (アカデミー特例)適用 〔東京都に居住・在学〕	三重県 (卒業小学校所在地) (アカデミー特例)適用 〔東京都に居住・在学〕
S 選手	茨城県 (居住地) 2020.3月卒業	— (中止) (アカデミー入校) 〔東京都に居住・在学〕	三重県 (卒業小学校所在地) (アカデミー特例)適用 〔東京都に居住・在学〕	三重県 (卒業小学校所在地) (アカデミー特例)適用 〔東京都に居住・在学〕
T 選手	茨城県 (学校所在地) 2020.3月卒業	— (中止)	三重県 (学校所在地) (新卒業者)適用	東京都 (居住地) (アカデミー入校) (アカデミー特例)適用 〔東京都に居住・在学〕
U 選手	東京都 (居住地) (アカデミー入校)	— (中止) (アカデミー在籍) 〔東京都に居住・在学〕	— (アカデミー在籍) 〔東京都に居住・在学〕	三重県 (卒業小学校所在地) (アカデミー特例)適用 〔東京都に居住・在学〕

※ JOC エリートアカデミーに在籍する選手は、在籍期間中、その初回の大会参加時に選択した所属都道府県を変更することはできない。ただし、前回の大会より2大会の間を置いた場合はこの限りでない。

※ U 選手の事例：

U 選手は、第75回大会(高校1年生時)及び第76回大会(高校2年生時)は不参加(中止)であることから、前回大会出場から2大会の間を置いたこととなるため、第77回大会(高校3年生時)において、所属都道府県を変更して参加することができる。

【事例5 補足：アカデミー在籍期間中に所属都道府県を移動できない事例】

	第74回大会 〔中学3年生〕	第75回大会 〔高校1年生〕	第76回大会 〔高校2年生〕	第77回大会 〔高校3年生〕
V 選手	三重県 (卒業小学校所在地) (アカデミー特例)適用 〔東京都に居住・在学〕 2020.3月卒業	— (中止) (アカデミー在籍) 〔東京都に居住・在学〕	東京都 (居住地) (新卒業者)適用 (アカデミー在籍) 〔東京都に居住・在学〕	東京都 (居住地) (アカデミー在籍) 〔東京都に居住・在学〕

※ V 選手の事例：

V 選手は、第74回大会に「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」を活用し、「卒業小学校所在地」である三重県より参加。

第76回大会の参加にあたっては、JOC エリートアカデミー在籍期間中の初回の参加時に選択した所属都道府県を変更することはできないとの制限が「新卒業者」等の特例より優先されることから、三重県以外の都道府県から参加することはできない。三重県以外の都道府県(東京都)から参加するためには、V 選手の事例のように、2大会の間を置く必要がある。

東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置

公益財団法人日本スポーツ協会

「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」（以下「本特例」という。）について、以下のとおり定める。

1. 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2. 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「『学校教育法』第1条に規定する学校の所在地（以下『学校所在地』という。）」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の適用期間】

第77回国民体育大会（栃木県）まで

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- ① 平成23年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。
- ② 災害が発生しなかったと仮定した場合、当該大会開催年（冬季大会は開催前年）の4月30日以前から当該大会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

- 1) 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、当該大会の前々回大会または前回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第3項 - (1) - 1) - ③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の適用期間】

第77回国民体育大会（栃木県）まで

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

- ① 平成23年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

- ② 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が当該大会開催年(冬季大会は開催前年)の4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると公益財団法人日本スポーツ協会(以下「日本スポーツ協会」という。)が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

- 2) 本項 1) を適用して避難等による移動先の都道府県から当該大会の前回大会または当該大会に参加した者が、当該大会の次回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第3項 - (1) - 1) - ③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

- (3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

① 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

② 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度(小学校は2015年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

3. 特例の適用に係る手続き

- (1) 本特例の適用を受けて参加する者の所属となる都道府県競技団体は、所定の様式1を所属となる都道府県体育・スポーツ協会へ提出する。

- (2) 所属となる都道府県体育・スポーツ協会は、(1)により提出された内容を確認の上、所定の様式2に様式1の写しを添えて、以下のとおり提出する。

1) ブロック大会

ブロック大会実施競技の本特例適用者(都道府県予選会参加者含む)について、各競技参加申込締切日までに当該ブロック大会開催県へ提出する。

2) 本大会

全競技の本特例適用者(都道府県予選会参加者含む)について、各競技参加申込締切日までに日本スポーツ協会へ提出する。

- (3) 日本スポーツ協会は、提出内容を取りまとめの上、都道府県体育・スポーツ協会、中央競技団体等関係各機関・団体へ通知する。

4. その他

本特例に定めのない事項及び特例期間の延長等については、必要に応じ国民体育大会委員会において検討を行うものとする。

附則

- (1) 本特例は、平成23年4月26日に制定、施行し、第66回本大会及び第67回冬季大会から適用する。
- (2) 本特例第2項(3)の「ふるさと選手制度(追加)」及び、同項(1)及び(2)の「適用期間延長(第67回本大会及び第68回冬季大会)」については、平成23年12月15日に改定、第67回冬季大会終了後に施行する。
- (3) 本特例第2項(1)及び(2)の「適用期間延長(第68回本大会及び第69回冬季大会)」及び同項(3)の「ふるさと制度に係る卒業対象年度」については、平成24年12月20日に改定、第68回冬季大会終了後に施行する。
- (4) 本特例第2項(1)及び(2)の「適用期間延長(第69回本大会)」及び同項(3)の「ふるさと制度に係る卒業対象年度」については、平成25年12月12日に改定、第69回冬季大会終了後に施行する。
- (5) 本特例は、平成26年6月12日に改定、施行する。
- (6) 本特例は、平成26年8月28日に改定、施行する。
- (7) 本特例は、平成27年3月12日に改定、施行する。
- (8) 本特例は、平成28年3月3日に改定、施行する。
- (9) 本特例は、平成28年12月16日に改定、施行する。
- (10) 本特例は、平成29年12月15日に改定、施行する。
- (11) 本特例は、平成30年4月1日に改定、施行する。
- (12) 本特例は、平成30年12月13日に改定、施行する。
- (13) 本特例は、令和元年12月12日に改定、施行する。
- (14) 本特例は、令和2年7月17日に改定し、第76回大会より施行する。
- (15) 本特例は、令和2年12月10日に改定し、施行する。

トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1. 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- 1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。
- 2) 大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
 - (1) JOC オリンピック強化指定選手
 - (2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
 - (3) 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2. 特例の内容

1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

(1) 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

1. 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
 2. 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
 3. 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
 4. 当該住居に主要な家財道具が存すること
- ② 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

(2) 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- ② 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3. 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③の通りとする。

4. 特例の適用に係る手続き

- 1) 正式競技実施中央競技団体は、当該大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）現在における「1. 特例の対象となる選手」の氏名等を別に定める様式により、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。
- 2) 公益財団法人日本スポーツ協会は、「国民体育大会参加申込システム」内にて、特例対象選手一覧を公表する。
- 3) 参加都道府県体育・スポーツ協会は本特例活用者を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。

5. その他

本特例に定めのない事項については、必要に応じ国民体育大会委員会において協議するものとする。

附則

本特例は、平成23年12月15日に制定し、第67回本大会より施行する。

本特例は、平成26年5月15日に改定し、第69回本大会より施行する。

本特例は、平成29年6月16日に改定し、第73回より施行する。

本特例は、平成30年4月1日に改定し、同日より施行する。

第76回国民体育大会(三重県)における予選会免除対象大会一覧

令和2年12月10日開催
「令和2年度第3回国民体育大会委員会」決定

◆ 第32回オリンピック競技会(東京/日本)

【免除対象競技】24競技

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、セーリング、ウェイトリフティング、自転車、卓球、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、ライフル射撃、スポーツクライミング、カーヌー、アーチェリー、空手道、クレー射撃、トライアスロン

◆ 第31回ユニバーシアード競技大会(中国/成都)

【免除対象競技】13競技

陸上競技、水泳、テニス、ボート、バレーボール、体操、バスケットボール、卓球、フェンシング、柔道、バドミントン、ライフル射撃、アーチェリー

◆ 各中央競技団体が指定する世界選手権大会等の国際大会

競技名		対象大会	
		No.	大会名
1	陸上競技	1	2020南京世界室内陸上競技選手権
		2	2021アジアリレー選手権大会
		3	WA世界リレー2021
		4	第24回アジア陸上競技選手権大会
		5	第18回U20世界陸上競技選手権大会
		※ 6	第29回日・韓・中ジュニア交流競技会
		7	アジア投てき選手権
2	水泳	※ 8	第8回世界ジュニア水泳選手権(競泳)
		9	東京オリンピック世界最終選考会(OWS)
3	テニス	※ 10	ジュニアデビスカップ アジア/オセアニア予選
		※ 11	ジュニアフェッドカップ アジア/オセアニア予選
		12	全仏オープン
		13	ウィンブルドン
4	ボート	14	ワールドカップ第1戦・第2戦・第3戦
		※ 15	オリンピックアジア・オセアニア大陸予選
		16	オリンピック最終予選
		17	世界選手権、U19世界選手権、U23世界選手権
5	ボクシング	※ 18	世界最終予選(第32回オリンピック競技会予選)
		※ 19	アジア選手権大会
6	バレーボール	20	アジア男子クラブ選手権大会
		21	アジア女子クラブ選手権大会
		22	バレーボールネーションズリーグ(男子)
		23	バレーボールネーションズリーグ(女子)
		24	第21回アジア選手権大会(男子)
		25	第21回アジア選手権大会(女子)
		※ 26	世界ジュニア(U21)男子選手権大会
		※ 27	世界ユース(U19)男子選手権大会
		※ 28	世界ジュニア(U20)女子選手権大会
7	バスケットボール	※ 29	世界ユース(U18)女子選手権大会
		30	FIBA 3×3 Olympic qualifying tournament
		※ 31	FIBA 3×3 Universal Olympic qualifying tournament
		※ 32	FIBA U17 Basketball World Cup
		※ 33	FIBA U18 Asian Championship
		34	FIBA U19 Basketball World Cup

◆ 各中央競技団体が指定する世界選手権大会等の国際大会

競技名		対象大会	
		No.	大会名
7 バスケットボール	※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	35	FIBA U16 Asian Championship 2020
		36	FIBA Woman's Asia Cup
		37	FIBA U17 Woman's Basketball World Cup
		38	FIBA U18 Woman's Asian Championship 2020
		39	FIBA U19 Woman's Basketball World Cup
		40	FIBA U16 Woman's Asian Championship
		41	FIBA 3×3 Asia Cup 2021
		42	FIBA 3×3 U23 World Cup 2021
		43	FIBA 3×3 U23 Nations League 2021
		44	FIBA 3×3 U18 World Cup 2021
		45	FIBA 3×3 U17 Asia Cup 2021
8 セーリング		46	プリンセスソフィア杯
9 ウエイトリフティング	※	47	アジア選手権大会
10 自転車		48	2021年ジュニアネイションズカップ (フランス) Trophée Centre Morbihan
		49	2021年ジュニアネイションズカップ (スイス) Tour du Pays de Vaud
		50	2021年ジュニアネイションズカップ (ドイツ) LVM Saarland Trofeo
		51	2021年ジュニアネイションズカップ (カナダ) Tour de l'Abitibi
		52	2021年U23ネイションズカップ (フランス) L'Etoile d'Or
		53	2021年U23ネイションズカップ (フランス) Course de la Paix Grand Prix Jeseniky
		54	2021年ジュニアトラック選手権 (エジプト・カイロ)
		55	2021年UCIトラックネイションズカップ (イギリス・ニューポート)
		56	2021年UCIトラックネイションズカップ (香港)
		57	2021年UCIトラックネイションズカップ (コロンビア・カリ)
11 卓球	※ ※	58	2021アジア卓球選手権大会
		59	2021アジアジュニア卓球選手権大会
12 フェンシング		60	アジア選手権大会
		61	オリンピック地区別最終予選会
		62	男女サーブルシニアグランプリ大会
		63	男女エペシニアグランプリ大会
		64	男女フルーレシニアワールドカップ大会
		65	男女サーブルシニアワールドカップ大会
		66	男女エペシニアワールドカップ大会
		67	男女フルーレシニアグランプリ大会
		68	男女サーブルシニアグランプリ大会
13 ソフトボール		69	第2回WBSC女子U18ソフトボールワールドカップ
14 バドミントン		70	スディルマン杯
		71	世界ジュニア選手権
15 ライフル射撃		72	ISSFワールドカップチャンピオン大会
		73	ISSFワールドカップバグー大会
		74	ISSFジュニアワールドカップ大会
		75	ISSFジュニア世界選手権大会
16 スポーツクライミング	※ ※	76	IFSCスポーツクライミングワールドカップシリーズ
		77	IFSC世界ユース選手権大会
		78	IFSC-ACCクライミングアジア選手権大会
		79	IFSC-ACCクライミングアジアユース選手権大会
17 カヌー		80	カヌースプリントワールドカップ第1戦・第2戦
		81	カヌースプリントジュニア・U23世界選手権大会
		82	カヌーワイルドウォーターワールドカップ第1～第3戦
		83	カヌースラロームワールドカップ第1・第2戦
		84	カヌースラロームジュニア・U23世界選手権大会

◆ 各中央競技団体が指定する世界選手権大会等の国際大会

競技名		対象大会	
		No.	大会名
18	アーチェリー	85	ヒュンダイ アーチェリーワールドカップ2021 ステージ1 グアテマラ・グアテマラシティ大会
		86	ヒュンダイ アーチェリーワールドカップ2021 ステージ2 中国・上海大会
		87	ヒュンダイ アーチェリーワールドカップ2021 ステージ3 フランス・パリ大会
		88	第1回アジアカップアーチェリー選手権大会 タイ・バンコク大会
		89	第2回アジアカップアーチェリー選手権大会 韓国・光州大会
19	ボウリング	90	第26回アジア選手権大会
		91	世界ジュニア選手権大会2021
		92	第21回アジアジュニア選手権大会

※ 当該大会の会期が未定であることから、会期が国体本大会と重複しないことが確認され次第、予選会免除対象大会として正式決定することとする。

東北総体関係資料

令和3年度国民体育大会東北ブロック大会
兼第48回東北総合体育大会実施要項
総 則

1 開催の趣旨

東北地区のスポーツを振興し、地域住民の体力増進を図るとともに、各県の親善と交流を深め、もって健康で文化的な生活の確立に寄与する。

2 主催等

- (1) 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 東 北 各 県 東北各県体育(スポーツ)協会
東北各県教育委員会 東北高等学校体育連盟 東北中学校体育連盟
東北地区競技団体
山 形 市 米 沢 市 鶴 岡 市 酒 田 市 新 庄 市
寒 河 江 市 上 山 市 村 山 市 天 童 市 東 根 市
南 陽 市 山 辺 町 中 山 町 西 川 町 川 西 町
白 鷹 町 鮭 川 村
(宮 城 県) 仙 台 市 大 和 町 登 米 市
(青 森 県) 西 目 屋 村
- (2) 主管 公益財団法人山形県スポーツ協会 山 形 県 教 育 委 員 会 山形県高等学校体育連盟
山形県中学校体育連盟 会 場 地 市 町 村 会場地市町村教育委員会
会場地市町村体育(スポーツ)協会 開 催 県 競 技 団 体 会場地市町村競技団体
- (3) 後援 ス ポ ー ツ 庁

3 実施競技種目

下表の国民体育大会正式種目(36競技)を実施

NO.	競技種目名		NO.	競技種目名		NO.	競技種目名		NO.	競技種目名	
1	水	水 球	11	バレーボール		20	相 撲		32	空 手 道	
	泳	フリースタイル	12	体 操	体操競技	21	馬 術		33	銃 剣 道	
2	ボ ー ト				新 体 操	22	フェンシング		34	ク レ ー 射 撃	
3	カヌー	カヌー			トランポリン	23	柔 道		35	な ぎ な た	
		スプリント	13	バスケットボール		24	ソフトボール		36	アイスホッケー	
4	ボウリング		14	ウエイトリフティング		25	バドミントン				
5	ゴ ル フ		15	ハンドボール		26	弓 道				
6	陸 上 競 技		16	自 転	トラック	27	ライフル射撃				
7	サ ッ カ ー			車	ロード	28	剣 道				
8	テ ニ ス		17	ソフトテニス		29	ラグビーフットボール				
9	ホ ッ ケ ー		18	卓 球		30	スポーツクライミング				
10	ボクシング		19	軟 式 野 球		31	アーチェリー				

4 会期・会場他

(1) 主会期 令和3年8月20日(金)から8月22日(日)までの3日間

(2) 主会期外 次の競技種目の開催期日は下表のとおりである。

NO.	競技種目		開催期日
1	水 泳	水 球	7月31日(土)～8月1日(日)
		アーティスティックスイミング	7月17日(土)～7月18日(日)
2	ボ	ー ト	7月30日(金)～8月1日(日)
3	カヌー	スラローム・ワイルドウォーター	6月26日(土)
		スプリント	7月10日(土)
4	ボウ	リ ン グ	7月9日(金)～7月11日(日)
5	ゴ	ル フ	6月16日(水)～6月17日(木)
6	陸 上	競 技	8月28日(土)～8月29日(日)
7	サッ	カ ー	7月29日(木)～8月1日(日)
8	テ	ニ ス	7月31日(土)～8月1日(日)
9	ホッ	ケ ー	8月26日(木)～8月29日(日)
12	体 操	体 操 競 技	7月16日(金)～7月18日(日)
		新 体 操	7月16日(金)～7月17日(土)
		トランポリン	7月11日(日)
15	ハ ン ド	ボ ー ル	8月26日(木)～8月29日(日)
16	自 転 車	ト ラ ッ ク	8月27日(金)～8月28日(土)
		ロ ー ド	8月29日(日)
20	相	撲	8月28日(土)～8月29日(日)
21	馬	術	7月10日(土)～7月11日(日)
25	バドミントン	ン	8月12日(木)～8月15日(日)
30	スポーツクライミング		7月9日(金)～7月11日(日)
31	アーチェリー	ー	8月7日(土)～8月8日(日)
32	空 手	道	8月28日(土)～8月29日(日)
33	銃 剣	道	8月29日(日)

(3) 会場地

山形市	米沢市	鶴岡市	酒田市	新庄市
寒河江市	上山市	村山市	天童市	東根市
南陽市	山辺町	中山町	西川町	川西町
白鷹町	鮭川村			
仙台市	登米市	大和町	(宮城県)	
西目屋村	(青森県)			

5 競技方法 競技別実施要項による。

6 参加資格

第76回国民体育大会実施要項総則の5に示された参加資格とする。

7 表 彰

- (1) 各競技の競技別総合順位決定方法は、競技別実施要項による。
- (2) 各競技の男女総合成績第1位に大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各競技の男女総合成績第1位から第3位までにそれぞれ表彰状を授与する。
- (4) 各競技の種別及び種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。
- (5) 表彰式については、会場地実行委員会が会場地の状況に応じて開催可否を判断する。

8 参加申込方法

- (1) 各県の体育（スポーツ）協会会長及び競技団体会長は、連署の上、各県において選抜された者ならびにチームを、大会会長宛てに申し込むものとする。
- (2) 参加申込は、定められた申込締切日までに「国民体育大会参加申込システム（別に定める添付書類を含む。以下同じ）」により行うものとする。
- (3) 参加申込締切日

①主会期に開催する競技は、令和3年7月21日（水）午後5時までとする。

②主会期以外に開催する競技は、下記の期日の午後5時までとする。

NO.	競 技 種 目		開 催 期 日	申込締切日
1	水 泳	水 球	7月31日(土)～8月1日(日)	7月1日(木)
		アーティスティック	7月17日(土)～7月18日(日)	6月17日(木)
2	ボ ー ト		7月30日(金)～8月1日(日)	6月30日(火)
3	カヌー	スラローム・ワイルド	6月26日(土)	6月3日(木)
		ス プ リ ン ト	7月10日(土)	6月24日(木)
4	ボ ウ リ ン グ		7月9日(金)～7月11日(日)	6月10日(木)
5	ゴ ル フ		6月16日(水)～6月17日(木)	5月26日(水)
6	陸 上 競 技		8月28日(土)～8月29日(日)	7月29日(木)
7	サ ッ カ ー		7月29日(木)～8月1日(日)	7月1日(木)
8	テ ニ ス		7月31日(土)～8月1日(日)	7月8日(木)
9	ホ ッ ケ ー		8月26日(木)～8月29日(日)	7月29日(木)
12	体 操	体 操 競 技	7月16日(金)～7月18日(日)	6月11日(金)
		新 体 操	7月16日(金)～7月17日(土)	
		トランポリン	7月11日(日)	
15	ハ ン ド ボ ー ル		8月26日(木)～8月29日(日)	7月29日(木)
16	自 転 車		8月27日(金)～8月29日(日)	7月27日(火)
20	相 撲		8月28日(土)～8月29日(日)	7月29日(木)
21	馬 術		7月10日(土)～7月11日(日)	6月10日(木)
25	バ ド ミ ン ト ン		8月12日(木)～8月15日(日)	7月15日(木)
30	ス ポ ー ツ ク ラ イ ミ ン グ		7月9日(金)～7月11日(日)	6月10日(木)
31	ア ー チェリー		8月7日(土)～8月8日(日)	7月8日(木)
32	空 手 道		8月28日(土)～8月29日(日)	7月29日(木)
33	銃 剣 道		8月29日(日)	7月29日(木)

- (4) 各県体育（スポーツ）協会は「国民体育大会参加申込システム」による参加申込手続きと併せて、令和3年度国民体育大会東北ブロック大会兼第48回東北総合体育大会山形県実行委員会（以下「山形県実行委員会」という。）が定める下記様式の書類を作成の上、期限までに提出するものとする。

①提出書類 ア) 完了報告書 イ) 派遣人員総括一覧表
 ウ) 参加料確認書 エ) 添付書類（必要がある場合）

②提出期限 令和3年8月5日（木）午後5時まで

③提出先 〒990-2412 山形県山形市松山二丁目11番30号
山形県教育庁スポーツ保健課競技力向上・アスリート育成推進室内
「令和3年度国民体育大会東北ブロック大会兼第48回東北総合体育大会山形県実行委員会事務局」

TEL：023-615-7925 FAX：023-615-7933

- (5) 参加申込締切後の選手交代（変更）は、原則として認めない。ただし、特別な事情がある場合は、別に定める「交代（変更）届」を2部（原本）作成し、山形県実行委員会および競技別実行委員会（開催県競技団体）に1部ずつ提出するものとする。
その場合の取り扱いは、各競技別実施要項によることとする。

9 参加料

- (1) 本大会に参加する各県選手団の参加料は、選手・監督および本部役員一人1,000円とする。なお、参加申込後の参加料の返金は、原則としてしない。
(2) 参加料は、山形県実行委員会が別に定める方法により、各県体育（スポーツ）協会が納入するものとする。

10 宿泊・昼食弁当申込方法

各県体育（スポーツ）協会および競技団体は、山形県実行委員会が別に定める方法により、前記8の申込締切日と同日までに申し込むものとする。

11 宿泊料金等

- (1) 宿泊料金は、下記の宿泊料金の範囲内とする。

区 分	宿泊料金（1泊2食付）	備 考
選 手 ・ 監 督	7,700円～11,000円	消費税・入湯税含む
上記以外の大会参加者	11,000円	消費税・入湯税含む

- (2) 弁当料金は、大会参加者一律 800円（消費税含む、飲料代含まない）

12 各県本部役員

各県本部役員を編成する場合は、団長・副団長・総監督・総務で15名以内とし、他に役員として、顧問5名を加えることができる。

13 参加上の注意

- (1) 各県選手団は、競技に際し、必ず県名標識をつけなければならない。
- (2) 参加選手の健康診断は、各県の責任において全選手に実施するものとする。
- (3) 大会参加者に傷害事故が発生した場合は、別に定める基準により見舞金を給付する。

14 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関しては、別に定める要領により対応するものとする。

東北総合体育大会傷害見舞金給付基準

(目 的)

第1条 この基準は、東北総合体育大会における参加者の負傷・疾病または死亡（以下「傷害」という）に際して、必要な見舞金の給付を行い、大会の円滑な運営に資するため定めるものとする。

(給付の種類)

第2条 前条の給付の種類は、医療見舞金・疾病見舞金及び死亡見舞金（以下「傷害見舞金」という）とする。

(給付の基準)

第3条 第2条に掲げる傷害見舞金は、その傷害が東北総合体育大会の管理下において発生し、医療費用額が3千円以上のものを対象とし、次の各号に掲げる区分に応じ支給するものとする。

- (1) 傷害見舞金については、健康保険法による療養に要する費用の額につき本人負担にかかる額とし、最高額15万円の範囲で給付する。
- (2) 死亡見舞金については、30万円とする。

2 東北総合体育大会の管理下とは、次に掲げる場合とする。

東北総合体育大会の開催期間（前日の練習日を含む）において、練習、競技中及び準備等にかかる場合をいう。

(給付の申請)

第4条 傷害見舞金給付にかかる申請は、別に定める様式により、医師の診断書を添えて、当該者の属する県体育協会会長が事故発生1か月以内に、開催県大会会長あて提出するものとする。

(審査及び事務処理)

第5条 傷害見舞金給付の審査及び事務処理は、開催県実行委員会事務局が当たるものとする。

2 傷害見舞金給付の対象期間は、事故の日からその日を含めて原則60日以内とする。

(見舞金の給付)

第6条 第3条の基準による見舞金の給付は、当該傷害見舞金給付申請書の内容を審査し、その見舞金額を決定のうえ支給するものとする。

2 前項の基準により支給額を決定したときは、当該県体育（スポーツ）協会会長を通じて、当該者に支給するものとする。

3 前項の当該者とは、負傷者が成人の場合は本人または遺族、未成年の場合はその保護者またはこれに準ずる親権者とする。

(財 産)

第7条 見舞金給付にかかる財源は、開催県実行委員会が50万円を拠出しこれに当て、順次累積するものとする。ただし、累積金額の規模により開催県実行委員会は50万円を拠出しないこととすることができる。

(報 告)

第8条 傷害見舞金の給付実績及び決算報告は、「東北総合体育大会報告書」をもってこれにあてる。

(そ の 他)

第9条 本基準外の重要と認める事項については、東北六県体育関係者会議において決定する。

附 則

この基準は、昭和49年第1回総合体育大会から適用する。

昭和50年 9月13日一部改正

昭和53年 8月28日一部改正

平成 3年 6月 4日一部改正

平成 9年 5月19日一部改正

平成26年 5月15日一部改正

平成30年 5月10日一部改正（給付の申請及び審査及び事務処理の内容の変更、見舞金給付の対象期間を追記）

傷害見舞金給付申請書

県体育(スポーツ)協会会長 (印)

[illegible]

**令和3年度国民体育大会東北ブロック大会兼
第48回東北総合体育大会
個人情報及び肖像権取扱要領**

この要領は、令和3年度国民体育大会東北ブロック大会兼第48回東北総合体育大会実施要項総則第13項の規定に基づき、山形県等の主催者や令和3年度国民体育大会東北ブロック大会兼第48回東北総合体育大会山形県実行委員会（以下「県実行委員会」という。）や開催市町村等が組織する会場地実行委員会及び開催県競技団体（以下「東北総体関係機関・団体」という。）が、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

1 個人情報の取り扱い

(1) 利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、東北総体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

(2) 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- ア 競技別プログラムへの掲載
- イ 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- ウ 競技会場内外の掲示板等への掲載
- エ 大会関連ホームページへの掲載

(3) 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記(2)で定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- ア 県実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- イ 東北総体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- ウ 東北総体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- エ 次回以降の大会プログラムへの掲載

【新記録や総合成績、優勝者及び上位入賞結果（記録）等】

2 肖像権に関する取り扱い

(1) 写真

東北総体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

(2) 写真（写真撮影企業等）

東北総体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、主管す

る開催県競技団体を中心に対応する。

(3) 映像

東北総体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放送及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、主管する開催県競技団体を中心に対応する。

3 対応

(1) 承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技における取り扱いに伴い、別途、主管する開催県競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

(2) 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、東北総体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

三重国体関係資料

総 則

開 催 の 趣 旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

三重県で開催する第76回国民体育大会「三重とこわか国体」は、「ときめいて人 かがやいて未来」のスローガンのもと、「県民力を集結する国体」、「創意工夫を凝らした国体」、「おもてなしの心を形にする国体」という3つの大きな柱を掲げ、スポーツを通じて人びとに夢と感動を与え、県民の皆さんの一体感を高めるとともに、人と人、地域と地域の絆づくりが進み「活力に満ちた元氣なみえ」につながる大会をめざして開催する。

実 施 方 針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、クレール射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (5 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ

(3) デモンストレーションスポーツ (32 競技)

伊賀流手裏剣打スポーツ、ウォーキング、ウォークラリー、エアロビック、SSピンポン、カッターレース、かるた競技、カラーリング、キンボールスポーツ、クップ、健康体操、3B体操、シーカヤック、スタンドアップパドルボード、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ健康吹き矢、スポーツチャンバラ、スポーツウエルネス吹き矢、ソフトバレーボール、ターゲット・バードゴルフ、タスポニー、チベットヨガ、ディスクゴルフ、日本拳法、パークゴルフ、パドルテニス、ビーチボールバレー、ビリヤード、ファミリーバドミントン、ペタンク、ユニカール、ラジオ体操

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球

2 会期及び会場地

(1) 正式競技・特別競技（14市、5町：計19市町）

会 期	会 場 地
2021年9月25日(土) ～10月5日(火) [11日間]	津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、 亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、 明和町、大台町、紀北町、多気町
2021年 9月4日(土) ～9月14日(火) 9月18日(土) ～9月20日(月) [14日間]	津市、四日市市、鈴鹿市、尾鷲市 ※ レスリング、柔道、水泳、体操競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（3市、2町：計5市町）

会 期	会 場 地
2021年8月28日(土) ～9月19日(日)	松阪市、桑名市、名張市、朝日町、紀北町

(3) デモンストラレーションスポーツ（9市、11町：計20市町）

会 期	会 場 地
2021年4月25日(日) ～11月28日(日)	津市、四日市市、松阪市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、志摩市、 伊賀市、木曽岬町、東員町、菰野町、川越町、明和町、玉城町、 度会町、大紀町、南伊勢町、御浜町、紀宝町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2021年4月1日から2021年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）」の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名、捺印がある同意書を所持すること。

5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第76回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」(「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。)

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」(中学3年生)に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ)bについて、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長(代表者)と体育・スポーツ協会会長(代表者)が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第74回又は第75回大会(都道府県大会及びブロック大会を含む)において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第74回又は第75回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

[注] a及びbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者(別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。)

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。)

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

c 一家転住に係る者(別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。)

[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d JOC エリートアカデミーに在籍する者(別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。)

e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者(別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。)

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(イ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ク 上記のほか、監督については公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 勤務地

(ウ) ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

[注]別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

(ア) 居住地を示す現住所

(イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ウ) 勤務地

(エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2021年4月30日以前から本大会終了時（2021年10月5日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

a 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

a 一家転住に係る者

b 別記4「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2003年4月1日以前に生まれた者とする。

- (イ) 少年種別に参加する者は、2003年4月2日から2006年4月1日までに生まれた者とする。
- (ロ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2021年4月1日を基準とする。
- イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2006年4月2日から2007年4月1日までに生まれた者）とする。
- (4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	———	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。
- ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表 彰

- (1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場

合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県体育・スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2021 年 8 月 19 日（木） 【10 競 技】	水泳、ボート、体操、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2021 年 8 月 26 日（木） 【2 競技】	レスリング、柔道
2021 年 9 月 2 日（木） 【26 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、クレール射撃、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ 三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会事務局

ウ 三重とこわか国体各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続をとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

- (1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県体育・スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	2, 0 0 0 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	4, 0 0 0 円

(注) 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

- (2) 大会参加負担金は、都道府県体育・スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2021 年 9 月 2 日（木）

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729

公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成及び視察員

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。
なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、アスレティックトレーナーを帯同できる。
なお、帯同できるアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

- (6) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2022 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している県については、栃木県 70 名以内、鹿児島県及び佐賀県 40 名以内、滋賀県及び青森県 30 名以内とする。

- (7) 都道府県選手団本部役員及び視察員の参加申込は、2021 年 9 月 2 日（木）までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

13 大会参加章、記念章及び視察員章の交付

大会参加章、記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

- (1) 大会参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員

(2) 記念章

公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者

※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。

(3) 視察員章

視察員

14 参加上の注意

(1) 大会期間中は、交付された大会参加章、記念章又は視察員章を携帯しなければならない。

(2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民体育大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

15 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会、三重とこわか国体各競技会場地市町実行委員会及び国民体育大会実施競技中央競技団体（以下「国体関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載

(イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載

(エ) 大会関連ホームページへの掲載

(オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ア) 三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(イ) 国体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載

(ウ) 国体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新

聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

(3) 対応

ア 承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

16 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民体育大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、三重県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

17 国民体育大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県体育・スポーツ協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責

任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員(顧問を含む)、視察員並びにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県体育・スポーツ協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金(一人あたり 1,000 円)を、日本スポーツ協会に納入する。
- (3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県体育・スポーツ協会へ通知する。

18 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。
- (3) 大会の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、政府方針をはじめ、公益財団法人日本スポーツ協会策定の「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」、開催地版ガイドライン、競技別ガイドライン、業種別ガイドライン等を基に、大会運営に必要な対策を十分に講じた上で開催することとする。なお、感染拡大防止対策として個人の健康管理の記録に際しては、体調管理アプリケーション又は体調管理チェックシートを利用するものとし、使用する体調管理アプリケーション又は体調管理チェックシートで取得した個人情報については、大会への出場・参加・来場資格の確認および大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

別記1 「国民体育大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。

別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1－③）（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民体育大会開催基準要項細則第3項〔国民体育大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－2)－②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規程する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

〔注〕 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

別記4 「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第31回オリンピック競技大会（2016年・リオデジャネイロ）に参加した者。
- (2) 2021年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2021年4月30日以前から大会終了時（2021年10月5日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2021年4月30日以前から大会終了時（2021年10月5日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③のとおりとする。

別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2021年4月30日以前から各競技会終了時（2021年10月5日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第74回及び第75回大会に当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2021年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

〔注〕「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学し

ている実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 75 回大会または第 76 回大会に参加した者が、第 77 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

個人情報保護に関する留意事項

国民体育大会参加申込システム（以下、「本システム」という）を利用するにあたっては、下記の内容をご熟読いただいた上で、個人情報保護に関して適切にご対応ください。

1. 個人情報の利用目的・範囲

本システムに登録された個人情報は、開催地都道府県実行委員会、当該中央競技団体、当該会場地市町村実行委員会、全国の都道府県体育・スポーツ協会（ふるさと登録情報のみ）、並びに、日本スポーツ協会等において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用します。また、競技別プログラム掲載事項に関する情報は、公表することがあります。

※ 個人情報を取得される際には、本人に対して、上記の利用目的・範囲をお示しください。

※ 上記の利用目的・範囲以外に、取得した個人情報を利用する場合には、貴団体の責任において、別途、本人に対してその利用目的・範囲をお示しください。

2. 個人情報の適切な管理

- (1) 第三者に対して、本システムで入手した個人情報を提供しないでください。ただし、貴団体における業務遂行上、委託業者等へ個人情報を渡す必要がある場合は、別途、当該業者との間で、適切な個人情報保護に関する契約を締結してください。また、当該業者に委託した業務が終了した後は、速やかに当該業務で使用した個人情報を適切に破棄するよう指示してください。
- (2) 個人情報を含む紙媒体や電子媒体（FD、CD-R、フラッシュメモリ等）等の物理的な資料の保管にあたっては、施錠可能なキャビネット等により紛失・盗難に備え、適切に保管してください。

3. ID 及びパスワードの適切な管理

- (1) 本システムを利用するにあたっては、各関係機関・団体に対して、ID 及びパスワードを付与いたしますが、当該 ID 及びパスワードは関係者以外の目に触れないよう適切に管理してください。
- (2) 都道府県体育・スポーツ協会から、傘下都道府県競技団体に対して、ID 及びパスワードをご連絡される際には、個人情報保護のセキュリティの観点から、ID を郵送（簡易書留等）、パスワードをメール（暗号化）で送信する等、ID とパスワードは必ず別送してください。
※ ID をメール（暗号化）送信、パスワードを口頭で連絡する等、別送される方法については特に指定いたしません。各都道府県の状況により適切にご対応ください。

- (3) 本システムを利用するにあたっては、1つのID及びパスワードを用いて、複数人が同時に重複して本システムにログインすることはできません。

4. パーソナルコンピュータの適切な管理

- (1) 個人情報を蓄積しているパーソナルコンピュータ（以下、「パソコン」という）については、紛失、盗難等に備え、適切な管理、取り扱いにご留意ください。
- (2) 個人情報を含んだパソコンの取り扱いについて、使用者別に使用権限を限定する設定を行う等、パソコン上に含まれた個人情報の流出、紛失等に備え、適切にご対応ください。
また、個人情報を含んだパソコンから離席する際には、当該パソコンをログオフする等、第三者の使用を防止してください。
- (3) インターネットからの悪意のある攻撃（接続／アクセス）に対して、セキュリティソフトをインストールする等、必要な対策を講じてください。
- (4) WINNY、Share 等の P2P ファイル交換ソフトがインストールされているパソコンでの本システムへのアクセスは禁止いたします。すでにインストールされている場合には、アンインストールを行った後に、本システムへアクセスください。
- (5) 不特定多数の方が利用できるパソコン（インターネットカフェ等）からの本システムへのアクセスは禁止いたします。
- (6) 参加選手団の個人情報を元に、別途資料等を作成する場合については、パスワードで読取を制限する等、細心の注意をお願いいたします。
- (7) 大会終了後、参加申込情報（参加者データ）については、業務上必要な情報以外、適切に削除・破棄していただき、情報が流出しないようご対応ください。

参加申込関係様式

第48回東北総合体育大会 申込確認書

令和3年 月 日

公益財団法人 秋田県スポーツ協会
会長 鶴田 有司 様

標記大会に参加するにあたり、次の項目を確認したので申込をします。

1. 確認書等の提出の確認

No	確認項目	はい	いいえ
1	『参加資格確認書』を参加選手全員分提出済みである。 【様式2 監督、成年選手用】【様式3 少年選手用】	☐	☐
2	ふるさと選手制度を使用する。 * 使用する場合 『ふるさと選手制度使用確認・申請書』を使用選手全員分提出済みである。	☐	☐
3	報道用及び派遣費用名簿を提出済みである。	☐	☐

2. 参加申込システムの確認

No	確認項目	担当者名
1	ふるさと登録選手の登録(システム入力)が完了しており、 ふるさと選手制度使用確認・申請書の内容と一致しているか。	
2	参加申込システムの入力内容と 報道用及び派遣費用名簿の記載内容が一致しているか。	
3	監督資格の登録番号、有効期限及び中央競技団体登録番号等の確認。	
4	参加種目と競技ごとに必要な入力事項の確認。	
5	監督・選手の国体参加履歴の確認(県予選からの参加扱いとなります)。	

以上のとおり、確認しました。

令和3年 月 日

競技団体名

最終確認者 役職

氏名

令和3年 月 日

受付者

秋田県スポーツ協会 競技力向上対策課

氏名

印

第76回三重国民体育大会 申込確認書

令和3年 月 日

公益財団法人秋田県スポーツ協会

会長 鶴田 有司 様

標記大会に参加するにあたり、次の項目を確認したので申込をします。

1. 確認書等の提出の確認

No	確認項目	はい	いいえ
1	『参加資格確認書』を参加選手全員分提出済みである。 【様式2 監督、成年選手用】【様式3 少年選手用】 ※東北総合体育大会時に提出済みと報告した競技は提出不要	☐	☐
2	ふるさと選手制度を使用する。 * 使用する場合 『ふるさと選手制度使用確認・申請書』使用選手全員分提出済みである。 ※東北総合体育大会時に提出済みと報告した競技は提出不要	☐	☐
3	報道用及び派遣費用名簿を提出済みである。	☐	☐
4	参加選手全員の問診票を提出済みである。	☐	☐

2. 参加申込システムの確認

No	確認項目	担当者名
1	ふるさと登録選手の登録(システム入力)が完了しており、 ふるさと選手制度使用確認・申請書の内容と一致しているか。	
2	参加申込システムの入力内容と 報道用及び派遣費用名簿の記載内容が一致しているか。	
3	監督資格の登録番号、有効期限及び中央競技団体登録番号等の確認。	
4	参加種目と競技ごとに必要な入力事項の確認。	
5	監督・選手の国体参加履歴の確認(県予選からの参加扱いとなります)。	

以上のとおり、確認しました。

令和3年 月 日

競技団体名

最終確認者 役職

氏名

令和3年 月 日

受付者

秋田県スポーツ協会 競技力向上対策課

氏名

印

令和3年度 参加資格確認書 <監督・成年選手用>

① ↓ ↓ ↓ 太枠内①～④について、よく読み正確に回答してください ↓ ↓ ↓

競技名	種目 階級 等			
フリガナ	生年月日	西暦	年	月 日 生まれ
氏 名	性別	男性 ☐	女性 ☐	
勤務先又は所属先	※略式名称は厳禁 必ず正式名称記載 在学(年生)・教諭・学校職員			
緊急時連絡先	電話番号:	メールアドレス: @		
監督→→	区分	☐ 専任 or ☐ 兼任	指導者資格名 (監督資格)	
	指導者資格 登録No.(7桁)		その他 競技別必要資格名、No.等	

1. 過去2年間における国体・東北総体・県予選会の出場履歴について記入してください

②

年度	競技会	該当する箇所にチェック☐	秋田県以外の都道府県から出場した場合
令和2年度	国体	☐ 出場した or ☐ 不出場	出場した時の所属都道府県名 _____
	東北総体	☐ 出場した or ☐ 不出場	
	秋田県予選会	☐ 出場した or ☐ 不出場	
令和元年度	国体	☐ 出場した or ☐ 不出場	出場した時の所属都道府県名 _____
	東北総体	☐ 出場した or ☐ 不出場	
	秋田県予選会	☐ 出場した or ☐ 不出場	

会場 令和2年度 _____ 本会期: 鹿児島県 ｽｰﾍﾞﾙ: 秋田県 ｽｰﾍﾞﾙ・ｱﾙﾋﾞ: 愛知県・岐阜県 東北総体: 山形県
(開催地) 令和元年度 _____ 本会期: 茨城県 ｽｰﾍﾞﾙ: 北海道 ｽｰﾍﾞﾙ・ｱﾙﾋﾞ: 北海道 東北総体: 福島県

2. 特例措置及び制度を使用する場合に記入してください ※参加申込責任者は必ず事前に県スポーツ協会へ確認

③

使用する特例措置・制度名	☐ 新卒業者(卒業校名: _____) ☐ 結婚・離婚 ☐ ふるさと ☐ 震災特例
参加申込責任者記入欄 (使用にあたり補足説明)	

3. 所属区分について、該当する項目ア～ウに☑し、市町村名等を記入してください

④

選択肢	市町村名等	内容 (必ず一読のうえ確認ください)
☐ : ア 居住地を示す現住所	市町村名記入	今年度の4月30日以前から競技会終了時まで、引き続き居住地が秋田県内にあり、生活していること。確認が必要な場合は住民票に記載の日付を確認してください。
☐ : イ 勤務先	市町村名記入	今年度の4月30日以前から競技会終了時までの勤務先(実際に通勤し、その会社と雇用関係がある職場)の所在地が秋田県内であること。
☐ : ウ ふるさと	卒業学校名記入	卒業した小学校、中学校又は高校の所在地が秋田県内にあり、そのいずれかを登録する。 ※登録は別途競技団体を通じ手続きを行う ※専修学校など(例: 秋田公立美術大学附属高等学校)は不可

※参加資格の詳細は、日本スポーツ協会・国体参加資格、年齢基準等の解釈説明、「日常生活」ならびに「主たる勤務実態」の考え方を参照

参加申込責任者欄 (選手・監督は記入しないでください)

押印 or サイン

参加資格確認書をチェックのうえ参加申込システムへ入力したことを証明します。

令和3年度 参加資格確認書 《少年選手用》

① ↓ ↓ ↓ 太枠内①～④について、よく読み正確に回答してしてください ↓ ↓ ↓

競技名	種目 階級		等	
フリガナ	生年月日	西暦	年	月 日 生まれ
氏 名	性別	男性 ☐	女性 ☐	
学校名 又は 所属クラブ名	※略式名称は厳禁 必ず正式名称記載		在学(年生)	
緊急時連絡先 (保護者又は競技団体可)	電話番号:	メールアドレス:	@	

1. 過去2年間における国体・東北総体・県予選会の出場履歴について記入してください

②

年度	競技会	該当する箇所にチェック☐	秋田県以外の都道府県から出場した場合
令和2年度	国体	☐ 出場した or ☐ 不出場	出場した時の所属都道府県名 _____
	東北総体	☐ 出場した or ☐ 不出場	
	秋田県予選会	☐ 出場した or ☐ 不出場	
令和元年度	国体	☐ 出場した or ☐ 不出場	出場した時の所属都道府県名 _____
	東北総体	☐ 出場した or ☐ 不出場	
	秋田県予選会	☐ 出場した or ☐ 不出場	

会場 令和2年度 ―― 本会期：鹿児島県 ｽｰｰ競技会：秋田県 ｽｰｰ7休：愛知県・岐阜県 東北総体：山形県
(開催県) 令和元年度 ―― 本会期：茨城県 ｽｰｰ競技会：北海道 ｽｰｰ7休：北海道 東北総体：福島県

2. 特例措置及び制度を使用する場合に記入してください ※参加申込責任者は必ず事前に県スポーツ協会へ確認

③

使用する特例措置・制度名	☐ 新卒業者(卒業校名: _____) ☐ 結婚・離婚 ☐ 一家転住 ☐ JOCアカデミー ☐ 震災特例
参加申込責任者記入欄 (使用にあたり補足説明)	

3. 所属区分について、該当する項目ア～エに☑し、市町村名等を記入してください

④

選択肢	市町村名等	内容 (必ず一読のうえ確認ください)
☐ : ア 居住地を示す現住所	市町村名記入	今年度の4月30日以前から競技会終了時まで、引き続き居住地が秋田県内にあり、生活していること。確認が必要な場合は住民票に記載の日付を確認してください。
☐ : イ 学校所在地	市町村名記入	今年度の4月30日以前から競技会終了時まで、引き続き在籍している学校所在地が秋田県内で週5日通学していること。休学中や通信制、高専、別科は対象外です。
☐ : ウ 勤務先	市町村名記入	今年度の4月30日以前から競技会終了時までの勤務先(実際に通勤し、その会社と雇用関係がある職場)の所在地が秋田県内であること。
☐ : エ JOCエリートアカデミーに係る特例措置	小学校名記入	予選会から競技会終了時まで在籍し、次のいずれかに該当すること。 ・卒業した小学校の所在地が秋田県内である ・アカデミー入校時が小学生の場合、その小学校の所在地が秋田県内である

※参加資格の詳細は、日本スポーツ協会・国体参加資格、年齢基準等の解釈説明、「日常生活」ならびに「主たる勤務実態」の考え方を参照

参加申込責任者欄 (選手は記入しないでください)

押印 or サイン

参加資格確認書をチェックのうえ参加申込システムへ入力したことを証明します。

令和3年度 国体及び東北総体ふるさと選手制度使用確認・申請書

☆ 国体・東北総体に出場する場合、予選会からの提出が必要です ☆

～ ～ ～ ～ ～ 以下、本人直筆 ～ ～ ～ ～ ～

秋田県スポーツ協会 会長 様

届出日： 令和 年 月 日

国民体育大会ふるさと選手制度により、私の「ふるさと」を【秋田県】として、
第76回国民体育大会(予選会含む)において、下記内容のとおり使用申請致します。
なお、「ふるさと選手制度」の使用にあたっては、留意事項を遵守致します。

フリガナ		[性別] 男 女 ※いずれかに○印
氏 名	旧 姓 ()	[生年月日] 西暦 年 月 日 生まれ

1. 参加競技名(種別及び種目名を含む) ※種別の欄はどちらかに○をしてください。

競技:	種別: 成年男子 成年女子	種目:
-----	---------------	-----

2. 現住所(現在お住まいの住所です。県外在住の選手は実家の住所等を記入しないでください。)

〒	—	自宅電話番号: — —
		携帯電話番号: — —

3. 現在の学校又は勤務先

学校名(学年)	(年)
勤務先	

4. 「ふるさと」に関する確認事項 ※ふるさと選手制度の使用は、原則1回につき2年以上連続することとし、登録出来る回数は2回までです。

(1) 卒業学校名(秋田県の小学校、中学校又は高等学校) ※専修学校卒業者は卒業中学校名を記入してください。

昭・平・令 年 月 卒業

※〇〇市立、〇〇県立から学校名を正確に記入してください。

(2) ふるさと選手制度を使用した国体・国体予選会の確認

過去にふるさと選手制度を使用した大会に○してください。 ※東北総体に関しては競技によって開催県が違ってくるので各自注意すること。

回 (年)	63回 (2008)	64回 (2009)	65回 (2010)	66回 (2011)	67回 (2012)	68回 (2013)	69回 (2014)	70回 (2015)	71回 (2016)	72回 (2017)	73回 (2018)	74回 (2019)	75回 (2020)	76回 (2021)
・ 夏 季	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重
国体開催県	長野	新潟	北海道	秋田	岐阜	秋田	山形	群馬	岩手	長野	新潟	北海道	富山	秋田
・ スキー	長野	青森	北海道	青森	愛知	東京	福島	栃木	群馬	岩手	長野	山梨	北海道	青森
・ スケート	長野	青森	北海道	青森	愛知	東京	福島	栃木	群馬	岩手	長野	山梨	北海道	青森
東北総体開催県	山形	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	岩手	青森	秋田	宮城	福島	山形	山形
ふるさと選手制度を使用した年に○	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

注: 参加申込責任者も使用履歴を必ずチェックしてください

ふるさと選手制度使用に係る留意事項

- 「ふるさと」は、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。*JOCエリートアカデミー生は特例有り。
- 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。
なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第3項-(1)-1-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

参加申込責任者欄

押印 or サイン

参加資格確認書をチェックのうえ参加申込システムへ入力したことを証明します。

第 4 8 回東北総合体育大会 秋田県選手団名簿

<派遣費用>

競技名

(

)

氏

名

所属

<<成年男子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<<成年女子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<<少年男子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<<少年女子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

監督総人数

人

選手総人数

人

うち県外選手

人

第 4 8 回東北総合体育大会 秋田県選手団名簿

<報道用>

競技名

(

)

氏

名

所属

(総監督)

(

)

(トレーナー)

(

)

(総務)

(

)

<成年男子>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<成年女子>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<少年男子>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<少年女子>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

第 7 6 回国民体育大会 秋田県選手団名簿

<派遣費用>

競技名

(

)

氏

名

所属

《成年男子》

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

《成年女子》

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

《少年男子》

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

《少年女子》

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

監督総人数

人

選手総人数

人

うち県外選手

人

第 7 6 回国民体育大会 秋田県選手団名簿

<報道用>

競技名

(

)

氏

名

所属

(総監督)

(

)

(トレーナー)

(

)

(総務)

(

)

<<成年男子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<<成年女子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<<少年男子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

<<少年女子>>

【監督】

(

)

【選手】

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

(

)

令和3年度国民体育大会秋田県選手団
概要調査（話題性のある選手等調査票）

連絡先	団体名	
	職・氏名	
	電話	

特に力を入れているチーム・選手等

種目 種別等	フリガナ	具体的な内容（理由など）
	選手名	

話題性のある選手・有望選手一覧（例：親子、夫婦、連続出場）

出場競技 （競技・種別・種目）	フリガナ	内容（紹介したい成績や話題性）
	選手名	

令和3年度 参加資格確認書 《 ○ ○ ○ ○ 用 》

① ↓ ↓ ↓ 太枠内①～④について、よく読み正確に回答してください ↓ ↓ ↓

競技名	種目等		
フリガナ	生年月日	西暦	年 月 日 生まれ
氏名	性別	男性 ☐	女性 ☐
勤務先又は所属先	※略式名称は厳禁 必ず正式名称記載 在学(年生)・教諭・学校職員		
緊急時連絡先	電話番号:	メールアドレス: @	
監督→	区分	☐ 専任 or ☐ 兼任	指導者資格名 (監督資格)
	指導者資格 登録No.(7桁)	その他 競技別必要資格名、No.等	

1. 過去2年間における国体・東北総体・県予選会の出場履歴について記入してください

年度	競技会	該当する箇所にチェック☐	秋田県以外の都道府県から出場した場合
令和2年度	国体	☐ 出場した or ☐ 不出場	出場した時の所属都道府県名 _____
	東北総体	☐ 出場した or ☐ 不出場	
	秋田県予選会	☐ 出場した or ☐ 不出場	
令和元年度	国体	☐ 出場した or ☐ 不出場	出場した時の所属都道府県名 _____
	東北総体	☐ 出場した or ☐ 不出場	
	秋田県予選会	☐ 出場した or ☐ 不出場	

会場 令和2年度 ―― 本会期: 鹿児島県 対-競技会: 秋田県 対-7休: 愛知県・岐阜県 東北総体: 山形県
(開催県) 令和元年度 ―― 本会期: 茨城県 対-競技会: 北海道 対-7休: 北海道 東北総体: 福島県

2. 特例措置及び制度を使用する場合に記入してください ※参加申込責任者は必ず事前に県スポーツ協会へ確認

使用する特例措置・制度名	☐ 新卒業者(卒業校名: _____) ☐ 結婚・離婚 ☐ ふるさと ☐ 震災特例
参加申込責任者記入欄 (使用にあたり補足説明)	

3. 所属区分について、該当する項目ア～ウに☐し、市町村名等を記入してください

選択肢	市町村名等	内容 (必ず一読のうえ確認ください)
④ ☐ : ア 居住地を示す現住所	市町村名記入	今年度の4月30日以前から競技会終了時まで、引き続き居住地在秋田県内にあり、生活していること。確認が必要な場合は住民票に記載の日付を確認してください。
☐ : イ 勤務先	市町村名記入	今年度の4月30日以前から競技会終了時までの勤務先(実際に通勤し、その会社と雇用関係がある職場)の所在地が秋田県内であること。
☐ : ウ ふるさと	卒業学校名記入	卒業した小学校、中学校又は高校の所在地が秋田県内にあり、そのいずれかを登録する。 ※登録は別途競技団体を通じ手続きを行う ※専修学校など(例: 秋田公立美術大学附属高等学校)は不可

※参加資格の詳細は、日本スポーツ協会・国体参加資格、年齢基準等の解釈説明、「日常生活」ならびに「主たる勤務実態」の考え方を参照

参加申込責任者欄 (選手・監督は記入しないでください)

押印 or サイン

参加資格確認書をチェックのうえ参加申込システムへ入力したことを証明します。

- ☐ 入力の際には、確認事項を確かめながら進めてください。
- ☐ 不明な点があった際には直ちに県スポーツ協会等へ確認するなどし、スムーズな作業に努めてください。
- ☐ 国籍や特例措置に係る選手があった際は必ず事前に県スポーツ協会へ確認してください。
- ☐ 「3. 所属区分・・・」については参加申込責任者等がよく確認し、クラブ所属名で出る選手は居住地、所属学校名で出る選手は学校所在地とするなど、可能な限り統一してください。

誤情報の原因となります
参加申込担当者は厳に控えてください。

『 ふるさと選手制度 』 使用手続きについて

(公財) 秋田県スポーツ協会

ふるさと登録・申請に係る個人情報の取り扱いについて

標記の個人情報は、秋田県スポーツ協会を経て開催県実行委員会、当該中央競技団体、当該会場地
市町村実行委員会、日本スポーツ協会において、参加資格の確認をはじめとする大会運営業務のため
に使用します。

～ふるさと選手登録までの流れ～

① 使用申請する選手が「ふるさと選手制度使用確認・申請書」を各競技団体へ提出

1. 下記の手順により、様式をダウンロードしてください。

「秋田県スポーツ協会HP→資料・様式ダウンロード一覧→ふるさと選手制度使用確認・申請書」

2. 競技者本人が記載し、競技団体へ提出してください。

競技団体は取りまとめのうえ、補足等がある場合は追記し、東北総体申込み時（ストレートの
競技及び種別は国体申込み時）に秋田県スポーツ協会競技力向上対策課に原本を提出してくだ
さい。

※競技団体も1部コピーを保管しておくこと

② WEB上での登録（競技団体担当者が行う）

「国民体育大会参加申込システム」からの登録となります。ふるさと登録対象者全てを入力して
ください。ふるさと登録の入力が終了しないと大会参加申込の入力ができません。

《 ふるさと選手制度の留意点 》

☆ ふるさと選手登録は国体予選会に出場した時点で、毎年手続きをしていただきます。

☆ ふるさと選手登録は秋田県内の小学校、中学校又は高等学校を卒業したことが条件です。

※JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置有り。

☆ 1度、秋田県で「ふるさと選手登録」をすると、他の都道府県で登録することはできません。

☆ ふるさと選手制度の使用は、原則1回につき2年以上継続することとし、登録出来る回数は2回までです。

【例】「使用回数の解釈」

回 (年)		63回 (2008)	64回 (2009)	65回 (2010)	66回 (2011)	67回 (2012)	68回 (2013)	69回 (2014)	70回 (2015)	71回 (2016)	72回 (2017)	73回 (2018)	74回 (2019)	75回 (2020)	76回 (2021)	
国体開催県	・ 夏 季	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井	茨城	鹿児島	三重	
	・ スキー	長野	新潟	北海道	秋田	岐阜	秋田	山形	群馬	岩手	長野	新潟	北海道	富山	秋田	
	・ スケート	長野	青森	北海道	青森	愛知 岐阜	東京 福島	栃木	群馬	岩手	長野	山梨	北海道	青森	愛知 岐阜	
東北総体開催県		山形	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	岩手	青森	秋田	宮城	福島	山形	山形	
ケース①		□	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	←初 回 13回連続使用
ケース②		□	☑	☑	□	□	□	□	□	□	☑	☑	☑	☑	☑	←2 回目 5回連続使用
ケース③		□	☑	□	☑	□	☑	□	☑	□	☑	□	☑	☑	☑	←初 回 8回連続使用

第〇〇〇〇〇〇〇体育大会 秋田県選手団名簿

＜○○用＞

競技名

氏 名

(総監督)
(トレーナー)
(総務)

報道用のみの記載可となります。
競技団体において必要な役職を書き
加えてください。

所屬

秋田体育 (株)
(株) 体育協会
(有) 秋田体育

基本的に(株)、
(有)で標記し、
参加申込シス
テムと所属は
統一してくださ
い。

《成年男子》

【監督】

体育高校教

【選手】

監督と選手を兼任する場合は【監督兼選手】と記入し直して
してください。
他で兼任する場合も同様です。

秋田県〇〇連盟
秋田県〇〇協会

自営業、農業、家事手伝いなどは登録できません。
協会・連盟などの名を使ってください。
協会（連盟）から出場の方は協会（連盟）名のみ書
いてください。総監督等も同様です。

《成年女子》

【監督】

【選手】

協	子
協	子
協	子
協	子
協	子

各種目7～8人分で作成していますが、足りない場合はフォントやサイズの形式が変わらぬように『コピー』⇒『コピーしたセルを挿入』などで必要分を各自で増やしてください。

【例】として少年男子を参考にしてください。

《少年男子》

【監督】

【選手】

《少年女子》

【監督】

【選手】

派遣名簿のみの入力となります。
複数種別に監督として出る方もいると思いますが、その場合は『1人』となります。選手総人数とそのうちの県外から選手を入力してください。

監督総人数	選手総人数	うち県外選手

- ▶ 教諭・学校職員の方は校名の後ろに「教」または「職」を記入。
- ▶ 高等学校は「〇〇高校」で統一。中学校は「〇〇市立●●中学校」で統一。
- ▶ 【注意例】 聖霊女子短期大学付属高校 ⇒ 聖霊高校
ノースアジア大学附属明桜高校 ⇒ 明桜高校
秋田大学教育文化学部附属中学校についてはこのとおり記入
- ▶ 自営業・農業・家事手伝いなどは記載できません。
- ▶ 出場しない種別がある場合はその種別全体を選択し削除してください。
- ▶ 派遣費用は予備登録選手等は含みません（派遣旅費支給対象者のみ記入）
- ▶ 注意する漢字……サイトウ⇒「斉」「斎」「齊」「齋」 タカハシ⇒「高」「高」
ワタナベ⇒「辺」「邊」「邊」「部」 イトウ⇒「伊藤」「伊東」…etc

健康診断問診票

秋田県スポーツ協会 スポーツ医・科学委員会

整形外科
Dr. 担当

当委員会では、国体選手を対象に健康診断問診票によるメディカルチェックを実施しています。問題の見つかった選手にはその内容を本人及び必要な関係者に報告します。うっかりドーピングを防ぐために、使用している医薬品、サプリメントに関しては、製品名等の詳細を正確に正確に記入するよう併せてお願いします。

各競技団体担当者へは、配布・回収を期日までにお願いします。健康診断問診票が提出されない選手は国体参加を受理できません(国体参加条件)。

※問診票の取り違え防止のために必ず裏面印刷して提出してください。

氏名	身長	cm	体重	Kg
生年月日	昭和・平成	年	月	日 (年齢)
性別	男	女		
現住所	〒 Tel			
所属名	Tel			
緊急連絡先(名前:Tel)	Tel			
競技名	種目・階級・ポジション			

【Q1】既往歴(これまでににかかったことがある病気)についての質問

Q1-1: これまでに、下記の病気をしたことがありますか。ある場合は[]を付け、なかった時の年齢を()に記入し、ない場合は「[]」を付けてください。

□貧血() □喘息() □高血圧() □心電図の異常() □心臓病() □腎炎()
□肝炎() □胃・十二指腸潰瘍() □てんかん() □その他[病名]]
□手術() [病名]] □輸血() [病名]]
□薬物アレルギー() ※下記へ詳細 □食物アレルギー() ※下記へ詳細 □ない

Q1-2: Q1-1で「ある」と答えた病気について、その後の状態を詳しく記入してください。

Q1-3: これまでに2週間以上競技や練習の支障となる外傷(ケガ)や障害の経験がありますか。体の各場所につき、ある場合は[]を付け、なかった時の年齢を()に記入し、ない場合は「[]」に[]を付けてください。

□ 腰 () □ 膝 () □ 足首 () □ 肘 () □ 肩 ()
□ その他 () [外傷・障害名]] □ ない

Q1-4: Q1-3で「ある」と答えた外傷(ケガ)・障害の場所と症状を詳しく記入してください。

【Q2】家族歴に関する質問

Q2: 両親・兄弟・姉妹で突然死した方がいますか。いる場合は下の欄に記入してください。

□ いる □ いない

【続柄】	【年齢】	【病名】
------	------	------

【Q3】自覚症状についての質問

Q3: 以下の症状がある場合は[]を付け、下枠内に具体的なその内容を記入し、ない場合は「[]」に[]を付けてください。

□ 胸痛 □ 呼吸困難 □ 動悸 □ 脈の乱れ □ めまい □ 失神
□ 全身けいれん □ 全身的な倦怠 □ その他 []

【Q4】体重減量についての質問

Q4-1: 競技に際しての体重減量はありますか。

□ ある(減量前体重 . kg 目標体重 . kg) □ ない

Q4-2: Q4-1で「ある」場合、スムーズに減量できますか。

□ はい □ いいえ 具体的な減量方法[]

【Q5】現在のコンディションについての質問

Q5-1: 以下の項目のいずれかに[]を付けてください。

練習意欲 → □ 旺盛 □ 普通 □ なし
睡眠 → □ 良好 □ 普通 □ 不良
食欲 → □ 旺盛 □ 普通 □ 低下
便通 → □ 良好 □ 便秘(回/ 日) □ 下痢(回/ 1日)
全体的体調 → □ 極めて良い □ 良い □ 普通 □ 悪い □ 極めて悪い
(※女性)月経周期 → □ 定期的にある(日周期) □ 不定期である(カ月おき)
□ しばらくきていない(カ月間無い) □ まだ月経が無い
月経痛 → □ ない □ あるが気にならない □ 競技に支障がある □ 日常生活に支障がある
その他婦人科関連の悩みはありますか。 (月経量、月経前のコンディション不良など)
[]

Q5-2: コンディションが悪い場合は思い当たる理由を記入してください。

理由[]

【Q6】現病歴(現在にかかっている病気)についての質問

Q6-1: 以下の病気がある場合は[]を付け、下枠内に具体的なその内容を記入してください。

ない場合は「[]」に[]を付けてください。

□ 貧血 □ 喘息 □ 高血圧 □ 心臓病 □ 心電図の異常 □ 腎炎 □ 肝炎 □ 肝臓
□ 胃・十二指腸潰瘍 □ てんかん □ その他[病名]] □ ない

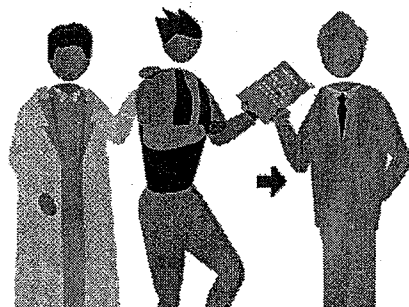
健康診断問診票について

- ◇ 提出期限は国体参加申込と同じです。 ※早すぎる提出や不出場選手分の提出はご遠慮ください
 - ◇ 提出日が国体予選前に設定されている団体は、国体出場予定者として提出してください。
 - ◇ 健康診断問診票は県スポ協HPでダウンロードしてください。 ※両面短辺印刷で活用ください
- 県スポ協HP → 様式ダウンロード → 東北総体・国体本大会関係
- ◇ 必ず当該年度版のシートを使用してください。

TUE申請について

忘れてはいけない、TUE(治療使用特例)申請

アスリートには、病気や突然の怪我がつきものです。
「禁止物質を使わないと、治療できないと主治医に言われてしまった。もうアスリートをやめなければいけないかも……」。
そんな風に悩んでいる方はいませんか？



TUEとは、「治療使用特例」のこと。禁止物質や禁止方法であっても、事前に所定の手続きによってTUEが認められれば、例外的に使用することができます。ただ、TUEが承認されていない場合は、医療上の理由でも禁止物質・禁止方法を使用できません。もし、使用してしまうと「アンチ・ドーピング規則違反」と判断されることがあるので、下記の承認条件を確認のうえ、十分注意して手続きを行ってください。原則としてTUEが必要な大会の30日前までに申請する必要があることも覚えておいてください。

TUEの承認条件とは？

- ✓ 治療をする上で、使用しないと健康に重大な影響を及ぼすことが予想される
- ✓ 他に代えられる合理的な治療法がない
- ✓ 使用しても、健康を取り戻す以上に競技力を向上させる効果を生まない
- ✓ ドーピングの副作用に対する治療ではない

TUE申請の手順について



①医師の診断・処方

TUE申請が必要

②県スポ協に連絡

③TUE申請書の作成

本人と医師の記述が必要

④県スポ協に提出

確認

⑤JADAに申請(県体協)

競技30日前

令和3年度 加盟団体提出書類・分担金・交付金等について

1 書類の提出（加盟団体規程第6条・第7条関係）

- (1) 提出期限 7月末日（整い次第速やかに提出）
- (2) 提出書類
 - ① 役員名簿（役員、連絡者、事務局に変更があった場合は随時提出）
 - ② 今年度事業計画書、収支予算書
 - ③ 昨年度事業報告書、収支決算書

2 分担金の納入（加盟団体規程第8条関係）

- (1) 納入期限 5月末日
- (2) 納入方法 下記口座への振込

- | |
|---|
| ① 秋田銀行 県庁支店 普通 283355
公益財団法人 秋田県スポーツ協会 |
| ② 北都銀行 本店営業部 普通 0331564
公益財団法人 秋田県スポーツ協会 |

3 加盟団体育成事業交付金の交付申請等

- (1) 内 示 5月中旬予定
- (2) 交付申請
 - ①申請期限 7月上旬
 - ②提出書類 交付金申請書（様式第1号）、事業計画書及び収支予算書（任意の様式）
- (3) 交付決定・交付
 - ①決定時期 7月中旬
 - ②送付書類 交付金決定通知書（様式第2号）
- (4) 実績報告
 - ①報告期限 事業完了後1ヶ月以内又は当該年度末のいずれか早い期日
 - ②提出書類 実績報告書（様式第3号）、事業報告書及び収支決算書（任意の様式）

4 大会参加料等

(1) 県民体育大会

- ① 参加料
 - 納入期限 大会終了後に速やかに
 - 納入金額 1名@500円
 - 納入方法 下記口座への振込

② 開催事業交付金（競技運営費、審判謝金）

内示後、加盟団体が交付申請し、県スポ協が交付大会終了後30日以内に実施報告書・決算書を提出

(2) 東北総合体育大会

- ① 参加料
 - 納入期限 参加申込時
 - 納入金額 1名@1,000円
 - 納入方法 下記口座への振込
- ② 国民体育大会参加者傷害補償制度負担金（掛金）
 - 納入期限 参加申込時 ※ストレート競技は国体申込時
 - 納入金額 選手・監督1名@1,000円
 - 納入方法 下記口座への振込
 - 備 考 東北総合体育大会から国体までの傷害事故等を補償

(3) 国民体育大会

- ① 参加料
 - 納入期限 参加申込時
 - 納入金額 少年選手 —— 1名@2,000円
監督、成年選手等上記以外 —— 1名@4,000円
 - 納入方法 下記口座への振込
- ② 国民体育大会参加者傷害補償制度負担金（掛金）※東北総体時に済んだ場合は不要

大会参加料・傷害補償負担金の指定口座 >>>

秋田銀行 県庁支店 普通 285820 公益財団法人 秋田県スポーツ協会

5 その他

- 毎年限限までに納入されない競技団体がありますので、納入期限は厳守してください。
- 国体傷害補償制度は県民体育大会及びストレートの競技・種目・種別は対象外ですので、スポーツ安全保険等へ競技団体ごとに加入してください。